

勝利の伝説シェvronラインは最高級品の証。

**“Chevron-Line”  
ist der Beweis  
höchster  
Qualität.**



**勝利をめざすなら、選ぶべきだ!**

—— 無言の威圧感を与えるヒュンメル ——

DOUBLE  
SCORE

総発売元 株式会社ダブルスコア  
大阪市天王寺区上汐5-4-22 〒543 TEL.(06)772-2777

# フランスナショナルチーム 来日決定

ジェルマン監督率いるフランスチームは、強豪チームがひしめきあうヨーロッパの中で急激に力をつけてきている。

今年2月に男子ナショナルチームがヨーロッパ遠征をした際、フランスナショナルチームと対戦し勝敗と星を分けている。この結果からも、フランス戦は好ゲームが予想される。

フランスは、キャプテンのジェオフロワを中心に、カイユウ、セリネ、クリオルなどがスピーディな攻撃を展開することが予想される。

市原全日本男子新監督率いる全日本チームが迎える初めての国際試合でもあり、11月に予想されるロサンゼルス・オリンピックアジア予選を展望する上で重要な試合となる。

以下、予定されている日程を紹介する。

【日程】	7月15日	来日
16日	対湧永製菓(大阪)	
17日	対全日本(横浜)	
20日	対徳山クラブ(徳山)	
23日	対全日本(名古屋)	
26日	対全日本(東京・駒沢)	
27日	帰国	

## 全日本女子ジュニア 世界ジュニア選手権 出場を決める!

10月にフランスで開催される世界女子ジュニア選手権大会の出場権をかけての中国台北との試合は、敵地に乗り込んで5月16、17日の両日にわたって2試合を戦い連勝で出場権を獲得した。

以下その戦いの模様を紹介する  
▽第1戦 5月16日

日 本 24(12|12) 17(11|11) 18 中国台北

昨年のインテラムニア・カップ(イタリア)出場をはじめ、数多くの国内合宿などで強化に励んできたが、やはり初めて体験するタートルマッチのプレッシャーは大きく、国内の高校チームクラスの實力程度と思われた中国台北チームに苦戦を強いられた。乗り越みに加えてオーバーステップなどの規準で大きく食い違う韓国ペアのジャッジングにとまどったこともあるが、苦戦の要因は、ほとんど自らのイージーミスが招いたものであり、反省材料の多い第1戦であった。

いきなりスタートで中国台北の

キャプテンでエースの劉玉芬に連続ゴールを許して守勢に回ったが、GK広瀬の好守を足がかりに若水、秋成の鋭い攻撃で2対2のタイ。これで勢いづくかと思われたが、攻守のコンビネーションがかみ合わず、劉の個人技を中心に攻め込んでくる中国台北に、再三ポストの甘いディフェンスをつかれ、なかなか主導権が奪えなかつた。

この重苦しいムンドを断ち切ってくれたのが小兵・若水。ポスト、サイド、あるいは速攻と、神出鬼没の動きで中国台北ディフェンスを攪乱し、4対7から貴重な3連続ゴールでペースを日本に呼び込んだ。加えて広瀬に代わったGK岡本も堅い守りで得点を許さず、中田のミドル、小口の速攻、山岸のロングを引き出して12対7と前半を優位に折り返した。

後半も幸先よく武藤から塩屋へ渡るポストへのパスプレーで6点差。

しかし、館内いっぱい詰めたファンの大応援を背に、中国

### 『ハンドボール』

58年6月号(第219号) 目次

フランスナショナルチーム来

日決定……………(1)

男・女監督 その決意を語る

……………(4)

第24回全日本実業団選手権……………(6)

第8回日本リーグの話題を

探る……………(10)

関東ジュニア研修訪独旅行

を終えて小西、原ほか……………(14)

海外トピックス……………(20)

西ドイツ協会機関誌よりの

レポート……………(22)

関東学生春季リーグ戦……………(26)

私の新著紹介……………新井節男……………(28)



台北もよく粘って反撃。エリアぎわの執ようなプレーでPTをものにしてはジリジリと点差を詰めていった。ポストで倒れこまればPT、あるいは失点というジャツジングを覚悟しなければいけないのに、詰め甘い中途半ばなディフェンスを繰り返して、若い中国台北チームを勢いづかせてしまったのがまずい。後半5分14-9から5分間で15-12と3点差に詰められ、さすがに各選手に焦りの色が出た。

ここで日本は、中国台北・劉のパスワークと、中央へと偏ってくる攻撃に對抗して、それまでサイドに回っていた若水をトップに上げ、0-6から1-5ディフェンスへとシフトチェンジ。それまで

快調なリズムで攻撃していた中国台北のペースを崩す作戦だったが、これが思いのほか効いた。2点差に詰めよる速攻ノーマークを失敗した中国台北の動揺をすかさずついで、小口がポストから倒れ込んで4点差。さらに若水、吉岡の速攻でたまたみかけ、後半14分18-12と足の止まった中国台北に水をあげた。

まだ体力的に十分鍛えられていない中国台北のスタミナ切れをつく、絶好のチャンスであり、続いて21分割の速攻ゴールを許したものの、日本は、小口のみドル、中田の速攻、山岸、武藤のロング連発と一気にエンジン全開、22-13と9点差をつけ、第1戦の勝利を不動にした。

## — 6月の黒板 —

- 1日 コーチ会議
- 10日 第8回日本リーグ前期開幕
- 11-12日 B級公認審判テスト (京都)
- 18日 常務理事会
- 19日 A級公認審判テスト (東京)
- 24-25日 B級公認審判テスト (神奈川)
- 28-30日 第15回自衛隊選手権 (東京・駒沢)

だが、この後がいけない。こうなれば第戦のためにも、さらに「貯金」して終わりたいところで、ともに若いジュニアとあればささいなことでも大きく試合の流れが変わってしまう。まして明らかに中国台北よりのジャツジングとあれば、第2戦のために、貯金はいくらあってもよかつた。

しかし、2ケタリードを目前にした24分過ぎから、中国台北・裏素風、劉のPTとミドルを許して3連続失点。この間、日本は再三のノーマークチャンスがありながら、GK陳淑媛にことごとくシャットアウトされ、足踏み状態が続き、さらに時実2分間退場の間にも、陳利沙、徐孝貞に打ち込まれ、2ケタリードばかりかあつたという間に6点差に詰め寄られてタイムアップ。中国台北側に「やれる！」の勢いをもたらせたまま終了という後味の悪い幕切れで第1戦が終つた。

### ▽第2戦 〆5月17日〆

日 本 24 (1113 | 6 | 11) 17 中国台北

前日成功した1-5ディフェンスで日本はスタート。いきなり武藤が45度からロングを叩き込んで好足を見せたが、前日、相手を調子づかせた格好で終わっていただけに、この日の中国台北は第1

戦を上回るデキ。素早い帰陣と、ロング、ステップにポストを織りまぜる攻撃で、徐孝貞、田美華が連取、その後も中国台北はGK陳淑媛の好守や、エース劉のシュート、さらには日本の退場を巧みについた劉、裏の連続速攻などで、日本は8分5-3と劣勢を強いられた。

ムードメーカーとして期待する中田を投入するなどして挽回に出る日本だったが、オーバーステップ気味に強引に割ってくる中国台北のカットイン攻撃に苦しみ、攻めでも浮き足立ってパスミスなどのイーゾーミスが続き、18分6-3、22分7-11と中国台北の快調な攻撃ばかりが目立つたゲーム展開。

前日の6点差の「貯金」も徐々に「目減り」していった。しかし、ここで日本に絶好のチャンスが訪れる。中国台北・孫家西が秋成のカットインをマークして2分間退場を宣せられたのだ。「この場面しかない」とこん心の力をふり絞って打つて出た秋成のジャンプシュートで攻撃ののろしをあげた日本は、素晴らしいプレーを次々と繰り出した。秋成に続いて小口の胸をすくような連続速攻が決まってこの2分間で3連続ゴール、さらに孫が復帰後も、速攻リズムをつかんだ日本は、激しいディフェンスから中国台北のシュ

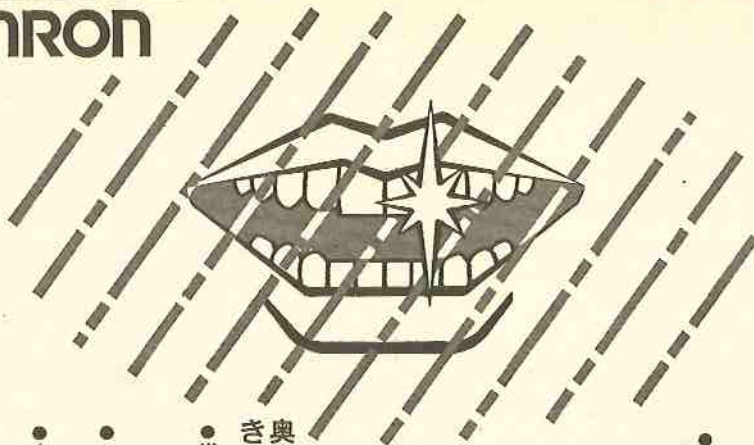
ートミス、オーバーステップなどを誘い、マイボールを粘り強く速攻につないで中田、吉岡が会心のゴール、あつという間に13-11と逆に2点差をつけ、前半を折り返した。

6-9の劣勢の場面から、GKを岡本から高校卒1年目の大西に代えたが、これで「守らねば」の気持が全員に乗り移り、積極的なディフェンスを展開できたことが好結果につながった。よい守りがよい攻めを生むのたどえど、持ち味の速攻を連発させた日本は、完全に主導権を握って後半を迎えることができた。

後半も開始早々にフォーメーションから左腕・高木が倒れ込み、さらに武藤がガツンとロングを決め、反撃を狙う中国台北の出バナをくじき、その後も、徐孝貞、鄭明蘭のサイドで食い下がる中国台北に対し、小口のみドル、さらにはコート縦横のすばしい動きで大評判を得た若水の俊敏なプレーなどで着々と加点、16分21-15として「フランス行き」を確定づけた。

日本はキャプテン秋成を軸にようやくこの第2戦の前半終盤から本来の動きを取り戻し、若水、中田、小口らの小兵陣の活躍に加え、GK岡本も中国台北の追撃をピシヤリと断つ好守を見せ、24-17で2連勝を飾った。

OMRON



「歯」キリキリ

シャワーで一日の汗を流すように、  
歯のよごれを落としてシエイブアップ!!

ジェット水流が  
歯と歯ぐきを  
守ります。

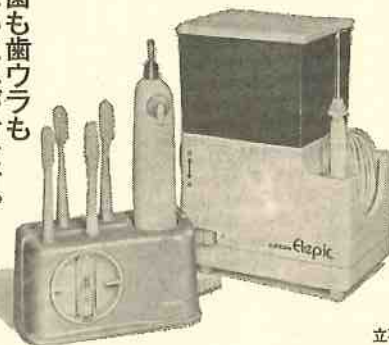
- ジェット水流が歯ぐきの健康によい適度な刺激を与えます。
- 食べカスを洗い流し、口臭を除きます。
- 水流はゆるくも、強くも調整できます。

奥歯も歯ウラも  
きれいにみがけます。

- 歯医者さんおすすめの、正しいみがき方ができます。
- 7倍の速さでみがけるローリング式です。
- 充電式だから、旅行にも便利です。
- 歯みがきの時間のわかる砂時計つきです。

オムロン 電動歯ブラシ

エレテント  
HT-B10 ¥5,950



オムロン 口腔洗浄器

エレピック  
HT-J11 ¥14,500

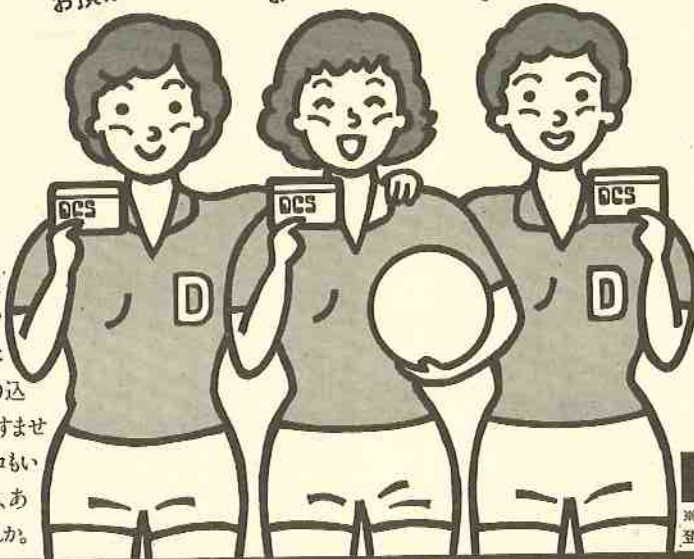
立石電機株式会社 〒616 京都市右京区花園土堂町10

便利です。ダイワキャッシュカード。

お預け入れに...

お引き出しに...

お振り込みに...



ダイワキャッシュカード1枚で、現金のお預け入れ、お引き出し、ダイワ本支店や他行へのお振り込みなどがスピーディにすまされます。通帳もハンコもいりません。ハンデイン1枚、あなたもお持ちになりませんか。

あなたと明日を

預金も信託も...

大和銀行

※他行へのお振り込みは、あらかじめ登録が必要です。



# ロサンゼルスオリンピック アジア予選に向つて

## 男子監督・市原則之

### 日本ハンドボール界の総力あげて戦おう

今般因らずも男子ナショナルチームの監督を務めることになったが、その大役に身の縮まる思いをして居る次第である。

現在日本ハンドボール界にとつては、ロス・オリンピックのアジア予選を控えて、その勝敗により将来の日本のハンドボールの国際舞台への道が占める極めて重大な時期にあり、果たしてこの短期間で微力な自分に一体何が出来るか、本心不安である。

客観的にアジアのスポーツ界を展望してみても、昨今の中国、韓国の活躍ぶりは全く目を見張らせるものがあり、両国共スポーツを政治、経済他多岐にわたり国策として利用し、特に韓国においてはその延長をアジア競技大会並びにオリンピックの開催までに発展させ、国民のスポーツ熱は益々盛んとなり、その意気は量り知れないものがある。

ことハンドボールにおいても然りて、日本の関係者の中では男子は未だ中国、韓国には勝てるだろという楽観的な考え方を持って

いる人がいるが、私は一昨年のジャパンカップで既に両国に完全に追いつかれて居ると確信して居る。

それでも昨年のアジア競技大会で、日本が中国に敗れるまで何とか勝利を取めてこられたのは、国際経験の一日の長と、日本チームのスタッフ及び選手たちの意地以外何物でもないと思考する。

現時点ではどうか。いうまでもなく両国のその後の国家的強化対策に日本は完全に追い越されて居るといっても決して過言ではあるまい。従つて、今ここで日本の総てのハンドボール関係者がこの危機状態を認識し、総てのハンドボール愛好者が結束して、あらゆる私心を捨てて純粋な英知を結集させ、この危機からの脱出を計らなければならぬ。

ここで誠に恐縮であるが手前事をお引き受けする過程では、私個人にとつて色んな問題が山積されて居た。とりわけ仕事の問題は真剣に悩まざるを得なかつた。多

# 男女監督 その決意を語る

くのナショナル選手を持つ企業の社会的責任として、というオーナーの温かい理解があつても、個人的には、男が40歳を過ぎると自分の職場においては、将来の分岐点に立たされ、その方向により進路が決定されるべき重大な時である。プロスポーツならともかく、アマチュアスポーツであれば、最終的には職場に帰属しなければならず、その時の職場での姿勢によつて、それまでのスポーツ人生の評価が下される。従つて自分は、好む、好まざるに係わらず将来を見極めて仕事に専任していた矢先であつた。

しかし、日本ハンドボール界が直面している危機と、今日までハンドボールで育ててもらつた恩恵を勘案し、また、モスクワを幻に終えた選手のために、敢えて個人を捨てて、非力ながらも予選までの数カ月間精魂を傾ける決心をした次第である。

幸せにも、チーム造りに不可欠なコーチも、近森(三陽商会監督)、野田(大同特殊鋼監督)の両氏を迎えることが出来、誠に心強い限りである。彼等の技量は、更に申し述べるまでもないが、選手時代より勝負根性と集中力にも特筆す

べきものがあり、現在もその特性を十分に發揮し、国内では屈指の指導者であることはその実績が示す通りである。また、あの燃焼したミюнヘン時代の魂を現在のナショナルチームに注入して、正に短期決戦に好適な人材である。

加えて、総務コーチとして一宮氏(日体大監督)の協力を得ることが出来、彼の温厚、誠実な人柄は悲壮感が漂うであろうナショナルチームにあつて、唯一のリラクゼーションの役割を果たし、選手たちのよき相談相手になつてくれることと期待している。

これら3名のコーチもそれぞれ自分の職場では、おのおの問題を抱えていることと推察される。しかしながら、このハンドボール界の窮状を救うため、個を捨て自らを犠牲にして、燃えたいがる炎の中に飛び込んでくれる誠頼もしい人たちが居る。今後はこのスタッフが同心となり、競技と一体となつて来るアジア予選の勝利の為に渾身の力を結集させる所存である。ともかくにも日本ハンドボール界の総力戦である。関係各位の絶大なる協力をなくして勝利を収めることは不可能である。この



なければならぬ。

そのためには現在国内の第一線で活躍中の即戦力となる個性豊かな選手を選抜して、短期間でチームワークを整え、燃える軍団に仕立て上げることが急務となる。従って、結果的には日本リーグの上位チームを主体とした選手選考にならざるを得ないであろう。

また、その選考方法も単なる技量だけにとられず、所属チームでリーダーの役割を果たし常に積極果敢なプレーをしている人、また、格闘技的要素の強いハンドボールに必要な闘争本能の旺盛な人等、精神的に逞しい人を優先させたいと考えている。

何れにせよ、日本ハンドボール界の命運を賭けた勝負であり、戦いである。そこには、スマートとか、華麗とか一切の麗句は必要としない。

要はチーム一丸となって泥まみれの勝負に挑み勝利を呼び込むだけである。

今後の合宿とか、練習方法については、情報化時代の今日あまり具体的に明記することは得策でないのが差し控えるが、少なくとも強靱な精神力の養成のために、従来までのナショナルチームの総ての固定観念、既成概念を取り外した方策をとりたいと考えている。

以上の様な固い決意で、この非常時の栄えあるナショナルチーム

の監督に専心努力する所存でありますので、選手が所属する各チーム並びに関係各位には多大なるご迷惑をお掛けすることと存じます

## ■女子監督・井 薫

### 新しい技術の修得体力の向上に取り組み

①いかに戦って、勝つか

監督としての抱負について

②短期間の強化策について

(イ)チーム像

(ロ)チームづくりの基本方針

(ハ)具体的な強化日程

(ニ)コーチの役割

私はこのような原稿依頼に關しまして、素直に抱負、強化策を述べるのは易しい事ですが、監督の立場としては、如何にお答えすべいかを考えてみました。

それは次のような事に起因します。

元来スポーツにおける勝負は、速さ、高さ、強さを競うもので、個人、団体の種目を問わず、相手を上回る技術、体力、精神力等が求められ、加えて戦法、戦術の巧拙が勝負を左右する大きな要因となります。特に、ボールゲームでは相手の戦力やスタッフの作戦等

に關して、戦力の分析及び戦術の解明がゲーム開始以前の重要な部分である事は、すでに皆様もご存知の通りです。

つまりコンピュータに入力する

が、何卒この趣旨をご理解頂きよろしくご協力並びにご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

データが多彩で豊富であれば、それだけ信頼に足る解答が望める事と同様に、対戦相手の情報、データは大小に係らず価値があるもので、そのデータの物語る、相手の傾向に対策を講じる事は当然であり、有利に戦いを展開する第一歩であると思います。

そんな状況下で、日本のナショナルチームにとって極めて不利な事は、メンバーの体力や能力の個人カルテや、ゲームの内容、個人の成績等がVTRのテープや、機関誌、研究発表の発刊物として数多く、ライバル国に流出している事実です。

そして、それらの限らない流出に比して、韓国、中国の情報の手は皆無に近い状態であったのが従来のパターンで、これでは戦前から数点差のハンディを背負っていたとも考えられます。そこで、その対策として私は今後次の二つの事を実行したいと思っています。

まず、情報流出は現状では仕方ないとしても、無定見に強化方針

や日程、戦力の紹介、評価等は行なわず、必要であれば最小限に止めるか、十分承知の上で行ないたい。

次に、困難ではあるが情報収集と分析処理もコーチの役割の中に位置づける。この点を韓国に限って言えば、昨年5月、日本でのアジア予選、更にハンガリーでの世界選手権大会の韓国チームのゲームの全テープを入手済みである事と、国内の韓国通の複数のルートから、新らしく詳細な情報の提供もあつたりで、これまでとは幾分違った環境づくとも出来つつあり嬉しく思っています。もっとも、

昨年のゲームのテープあたりが全面的に参考になるとは思いませんが、友人のマイコン狂にいわせる

と、本人やチームで気づかないプレー中の癖や、今後こんな方向に進むであろうとの予知等も、意外な程つかめるとの助言もあり、その協力も得て成果を期待したいと思えます。

ただ、これまで述べてきた部分は、ゲームが始まるまでの準備、対策のひとつであり、本当の戦いはコート上での競技にある訳ですが、反面、そんな部分での水面下の戦いはすでに始まっている事もご理解下さい。そして、ナショナルチームの活動、勝負の帰趨を国益と考え、国の施策として強化を計る国と、国からの補助はあつても、ほとんど、各々の種々団体の力と、選手が所属する企業等の理解によって進められる日本のナショナルチームの現状は、やはり彼

我、大きな差があるのも事実ですし、それでも、どうすれば日本のハンドボールが盛んになるのか、盛んになれば強くなるのか、このテーマを多くの人が考え、その情熱がナショナルチームを推進しているのも、また事実なのです。

全日本女子はメンバーも大幅に代ります。ジュニアの基盤が確立した事で、若手の登用を多くする体制が整いつつあり、それは長期展望での強化を推進する上で、大きい効果があると思います。

多くの先輩たちが築いた日本独自の戦法と、急ピッチで大型化する外国勢に、戦いを挑むための、新しい技術の開発や修得や、体力の向上に、全員が本当に真剣に取り組む事が少くとも、韓国、中国を追いかける立場の、日本の第一歩の強化姿勢であると思えます。

そして、常に勝負の結果を問われるナショナルチームですが、コートの外では、現代の女の子のグループとして、良い意味での華やかさ、爽やかさの漂うチームカラーで、多くの人に親しみを感ぜられるチームづくりを、コーチの諸氏の協力も併せてつくって行きたいと思えます。



# 第24回全日本実業団選手権

## 男子の部

5月1〜3日 (愛知県体育館)

# 湧永製薬3年連続5回目の優勝

### 戦評

近藤 金博

5月のゴールデンウィークを利用してのこの大会は、花と新緑につつまれた名古屋城に隣接した愛知県体育館において行なわれた。開会式には会場のメッセージとしてロサンゼルス・オリンピック予選の年であり、この大会にはナショナルの主力選手ほとんどが出場するとあって、全国のハンドボールの注目と期待は大きい旨のことが専務理事の挨拶があり、選手の間志の盛り上がりを感じられた。

は、西山(日新)と関(三陽)の対決のようなゲームであったが、日新が西山を泉、洞ヶ瀬がうまく生かして、残り時間8分間で勝負を決めた。

準決勝湧永製薬対本田技研鈴鹿は、井藤(湧永)・大畑(本田)の好守の目立ったゲームで、GKの好守により試合の流れが大きく変ることを証明する1戦だった。また、大同製鋼対日新製鋼の鉄鋼業種の対決は、蒲生が田口、高村の若手をよくリードうまく使っていた。大同もこの二人に非常に大きな期待を持っていることがうかがわれた。

決勝戦は、10年連続11回目の湧永製薬と大同製鋼の対決となったが、湧永製薬はエース津川を監督にし、池ノ上、生駒、志賀の大型選手を中央に配置した体制でスタート。大同は高村の活躍で10-

印象に残った試合  
開会式直後の第1試合の中村荷役対トヨタ自動車は、両チーム共よく走り、速攻の連続であったがこの大会初参加であり、川田選手の大活躍で若さのトヨタ自動車が勝った。今後大いに期待出来るチームだ。  
2回戦の日新製鋼対三陽商会

8とリードしたが、後半残り時間5分ベテラン藤本、松本(湧永)が好プレーをみせ逆転、ダメ押し点を取り勝利を握った。

優勝した湧永製薬は、メンバーにほとんど変更はなく最も安定しており、優勝候補筆頭にあげられ、池ノ上、生駒のミサイルシューターは大同・蒲生と並んでオリンピックで大いに活躍して欲しいものだ。なお、シュートコースの読みの良いGK井藤の活躍も優勝要因の一つである。

準優勝の大同製鋼は田口、高村の若手起用をしており、ゲーム展開の甘さを湧永につかれていたが、今後大きな期待出来るチームである。

5月初めの大会とあって、チームプレーが完全でないチーム等もあったが、各チーム共コンビプレーに努力をされているところが試合の随所にみられた。湧永製薬と大同の2強時代といわれているが、日新製鋼、本田技研鈴鹿等も

進歩めざましく、今後の対戦が楽しみだと思わせる要素が多い。今年度の日本リーグでは一波乱起きるのではないだろうか?

### 〔戦績〕

▽1回戦  
トヨタ 30 (1614) 中村荷役  
自動車 27 (1512)

トヨタ 26 (32138) 三景  
身体 23 (11813)

### ▽2回戦

日新製鋼 23 (1112) 三陽商会  
1010

本田技研 25 (1015) 大崎電気  
104

大崎電気 14 (104) 大崎電気  
115

特殊鋼 37 (2017) 自動車  
115

湧永製薬 31 (1516) 車トヨ  
27

▽順位決定戦  
大崎電気 21 (129) 中村荷役  
712

得0044520370000  
【大岡原東武長嶺松山宮星大八】  
崎部田江野岡本崎野沢幡

得00002251810000  
【GK】  
村塚橋田本口窪木成田沢田

得00002251810000  
【FP】  
中飯高飯松坂西大戸辻塚永窪

19 (2) PT (3) 21

三陽商会 23 (1310) 景  
911

得00544006521000  
【三陽】  
山村 子口川口原月沢井

得0002088200004222  
【大田】  
大田 金田坪砂山石望鶴亀

得0001020251000131  
【車】  
藤本長岡口井上原藤島塚

得0004224227300012  
【大崎】  
田内江野岡本崎野沢幡

得0001020251000131  
【工近】  
山藤森浜松井石佐中大

得000511105070003  
【自動】  
津西原山木江本藤井川本永

得000920008703000  
【GK】  
山野 子口川口原月沢井

得000920008703000  
【FP】  
三内 関 金田坪砂山石望鶴亀

29 (1) PT (1) 22

三陽商会 29 (1415) 自動車  
814

得000511105070003  
【自】  
玉中城小高畑相近香大久松

得000920008703000  
【FP】  
岩永

25 (0) PT (0) 14

大崎電気 25 (1411) 車トヨ  
77

得000511105070003  
【自】  
玉中城小高畑相近香大久松

得000920008703000  
【FP】  
岩永

20 (3) PT (4) 23

三陽商会 23 (1310) 景  
911

得000544006521000  
【三陽】  
山村 子口川口原月沢井

得0002088200004222  
【大田】  
大田 金田坪砂山石望鶴亀



▽準決勝

大 同 19 (910 | 97) 16 日新製鋼  
特 殊 鋼 19 (910 | 97) 16 日新製鋼

▽7位決定戦

トヨタ 25 (1411 | 1010) 20 車トヨ  
自動車 25 (1411 | 1010) 20 車トヨ

▽5位決定戦

大崎電気 23 (1013 | 69) 15 三陽商会  
大崎電気 23 (1013 | 69) 15 三陽商会

▽3位決定戦

日新製鋼 27 (1314 | 111) 22 鈴本技研  
日新製鋼 27 (1314 | 111) 22 鈴本技研

▽決勝

鴻永製薬 20 (128 | 710) 17 特殊鋼  
鴻永製薬 20 (128 | 710) 17 特殊鋼

得0022210020441  
新川 見瀬若野 瀬木山井  
【日西】 谷泉 吉洞脇日 一高西藤  
【GK】 審・幸田  
同 村川中口野川原本井生川村  
【GK】 審・新井  
大 上柳田小柳大中河浦市高  
得00224310403  
同 村川中口野川原本井生川村  
【GK】 審・新井

得0033133200014  
藤本長原岡口井原藤島塚  
【車工近山藤萩森浜松石佐中大  
【GK】 審・川島  
動津西原山木本藤木田井川永  
【GK】 審・森  
得008222001036003  
【自】 玉中城小高相近鈴川香大松  
得004170065000000  
【大】 岡矢東武長榊松山宮星大八  
【GK】 審・新井

得0060111411000  
陽山村 子口子川口原月沢井  
【三陽】 大田 関 金田坪砂山石望鶴亀  
【GK】 審・幸田  
得004170065000000  
【大】 岡矢東武長榊松山宮星大八  
【GK】 審・新井

得001000031010  
新川 見瀬若野 森木山井  
【日西】 谷泉 吉洞脇日 甲高西藤  
【GK】 審・川島  
同 村川中口野川原本井生川村  
【GK】 審・新井  
大 上柳田小柳大中河浦市高  
得0044311043000  
同 村川中口野川原本井生川村  
【GK】 審・新井

得0003122250002  
同 村川中口野川原本井生川村  
【大上柳田小柳大中河浦市高  
【GK】 審・幸田  
同 城藤上駒積本賀川本本田原  
【GK】 審・新井  
大 大井池生穂藤志中松山原楢  
得0044311043000  
同 城藤上駒積本賀川本本田原  
【GK】 審・新井

鴻永製薬 18 (108 | 74) 11 本田技研  
鴻永製薬 18 (108 | 74) 11 本田技研

得0023000023000  
永城藤上駒積本賀川本本田原  
【湧大井池生穂藤志中松山原楢  
【GK】 審・川島  
田 畑尾木松井岡野井屋野本上  
【GK】 審・森  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾

得0023000023000  
永城藤上駒積本賀川本本田原  
【湧大井池生穂藤志中松山原楢  
【GK】 審・川島  
田 畑尾木松井岡野井屋野本上  
【GK】 審・森  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾

得0023000023000  
永城藤上駒積本賀川本本田原  
【湧大井池生穂藤志中松山原楢  
【GK】 審・川島  
田 畑尾木松井岡野井屋野本上  
【GK】 審・森  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾

得0023000023000  
永城藤上駒積本賀川本本田原  
【湧大井池生穂藤志中松山原楢  
【GK】 審・川島  
田 畑尾木松井岡野井屋野本上  
【GK】 審・森  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾

得0023000023000  
永城藤上駒積本賀川本本田原  
【湧大井池生穂藤志中松山原楢  
【GK】 審・川島  
田 畑尾木松井岡野井屋野本上  
【GK】 審・森  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾  
得0062000001002  
本 大中佐三喜豊長玉栗猪坂尾

得009371000120  
景 村田飼園畑山倉部塚藤田  
【三】 中野大地田藤白岡飯近山  
【GK】 審・伊藤  
村 塚橋田木口窪木成 田沢田  
【GK】 審・加藤  
得0001111172 塚水窪  
得0001111172 塚水窪

得009371000120  
景 村田飼園畑山倉部塚藤田  
【三】 中野大地田藤白岡飯近山  
【GK】 審・伊藤  
村 塚橋田木口窪木成 田沢田  
【GK】 審・加藤  
得0001111172 塚水窪  
得0001111172 塚水窪

得009371000120  
景 村田飼園畑山倉部塚藤田  
【三】 中野大地田藤白岡飯近山  
【GK】 審・伊藤  
村 塚橋田木口窪木成 田沢田  
【GK】 審・加藤  
得0001111172 塚水窪  
得0001111172 塚水窪

得009371000120  
景 村田飼園畑山倉部塚藤田  
【三】 中野大地田藤白岡飯近山  
【GK】 審・伊藤  
村 塚橋田木口窪木成 田沢田  
【GK】 審・加藤  
得0001111172 塚水窪  
得0001111172 塚水窪

得009371000120  
景 村田飼園畑山倉部塚藤田  
【三】 中野大地田藤白岡飯近山  
【GK】 審・伊藤  
村 塚橋田木口窪木成 田沢田  
【GK】 審・加藤  
得0001111172 塚水窪  
得0001111172 塚水窪

# 立石電機3年連続4回目の優勝

## 女子の部

5月25〜27日（大阪市中央体育館）

### 戦評

近藤 金博

第24回全日本実業団ハンドボール選手権女子の部は、5月25、26、27日の3日間、大阪市中央体育館において行なわれたが、女子も男子同様ロサンゼルス・オリンピックのアジア予選を今秋に控え、選手、監督ばかりではなく関係者も大いに熱が入っていた。しかし女子選手の新旧交替も多く、立石では木下、姫野選手、ジャスコは横山、辻本選手、ブラザーは植田、則武選手やビクター、大崎等ほとんどのチームがレギュラー選手の引退させたが、将来有望な新人も数多く入って来ており、この穴がどれだけ埋められるかが大きなポイントでもあった。

決勝戦は、立石対ブラザーとなり、この大会初の顔合せである。ブラザーは前半固くなり、パスワークが低調となり、イレシュ、越田、岩村の並ぶ防壁の壁が厚く苦戦、これに対し立石は、決勝出場経験が豊富なせいにか、速攻、ロング、ポストと多彩な攻撃で木下、姫野の抜けた穴を感じさせない立石ペースだった。しかし、ブラザーも増水の好リードで杏原のロングシュートで追い込みをかけ3点差までつめたが、越内、亀岡の頭張り立石が振り切った。

今大会では、攻守共に最も安定した立石電機が3年連続（4度目）の優勝を飾ったが、イレシュ（カイヤ）のポスト攻撃で、1試合6〜10点の得点力が目立つが、岩村、越田選手にロングシュートを打てるチャンスを作ったり、防禦では守備範囲が広く守りの要となつてチームをよくリードしていた事は大きい。今後各チームとも大型化になって来ているが、このカイヤの基本に忠実なプレーは大いに参考になると思われる。

また、イレシュと李相玉の外人対決の立石対大崎戦は、李相玉が多彩なシュート、パスを繰り返すがフットワークの良いイレシュの

### 新人のためのゲームをしよう

今大会の試合開始が午後からの日程になっているので、ジャスコの鈴木監督発案で『午前中に新人養成のためのゲームをしよう』との意見が出され、各チーム監督もこれに賛成、大阪協会の協力により今大会には参加しているが試合に出場出来ない選手の研修を目的として、単独チームまたは混成チームを編成、26、27日の2日間ゲームを行なった。チームの勝敗には関係ないが、選手の熱心なプレーをみて、各チームの監督は新人の大会も開催して欲しい意見が強くあった。

女子のジュニア強化の一方方法として考えれば、大いにプラスになることだろう。



うまい防禦の壁は厚く、完全にブ  
ロックされ、逆にポスト攻撃で6  
点取られるなど、一方的であった。

速攻の応酬で、走るハンドボー  
ルをみせてくれたのがブラザー対  
ジャスコ戦である。横山、辻本  
(ジャスコ) 植田、則武(ブラザ  
ー)の主力選手が引退しているだ  
けに迫力がやや欠けた感もある  
が、ジャスコは寺沢を軸によく走  
ってボールを廻し、速攻につぐ速  
攻で攻めた。ブラザーも増永を中  
心によく走り、竹内の不調もあつ  
たが、杏原のロングシュート(こ  
の試合で17点中9得点)を生かし  
た。この試合でGK(加添、矢部)  
の好守が目立った。

この大会では、全日本ナショナ  
ル及びジュニアの選手が各チーム  
で活躍しており、それに続く次の  
時代の選手も多く、ロサンゼルス  
アジア予選に明るいものが見えて  
来ているように感じられた。しか  
し、世界のレベル(イレシユを尺  
度としてみる)をみると、今後  
に厳しいものがありますので一層  
の努力が必要だ。

【戦績】

▽1回戦

北国銀行 18 (711-106) 16 東京重機

ムネカタ 21 (129-178) 15 大和銀行  
▽2回戦

大崎電気 29 (1415-511) 16 日  
立石電機 26 (1412-146) 10 北国銀行  
ジャスコ 28 (1315-132) 5 ムネカタ

▽順位決定戦  
日立栃木 18 (144-17) 12 東京重機

得001010132300026  
立谷生高原山屋打田水田本岸

【樺島大栗西土手前清吉山山  
日】  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

機瀨井本村田島野山前辺田田  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

GK  
審・杉山  
吉田

日 本  
ビクタ 12 (57-5) 10 大和銀行

得000202000024  
和浜本木杉田水渡谷橋野成添

【高松鈴若前若馬天高西秋川  
大】  
得000202000024  
和浜本木杉田水渡谷橋野成添

GK  
審・幸田  
福井

得00220000000  
【月】  
得00220000000  
【月】  
得00220000000  
【月】

日立栃木 18 (711-65) 11 ムネカタ  
得0002013200210  
【ム】  
得0002013200210  
【ム】

立石電機 26 (1412-146) 10 北国銀行  
ジャスコ 28 (1315-132) 5 ムネカタ

日立栃木 18 (144-17) 12 東京重機

得001010132300026  
立谷生高原山屋打田水田本岸

【樺島大栗西土手前清吉山山  
日】  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

機瀨井本村田島野山前辺田田  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

GK  
審・島崎  
井上

立石電機 25 (1312-96) 15 大崎電気

得0006120100410  
【大】  
得0006120100410  
【大】

GK  
審・幸田  
福井

得00330000000  
【立】  
得00330000000  
【立】

得00330000000  
【立】  
得00330000000  
【立】

日立栃木 18 (910-48) 12 北国銀行  
得00212002700202  
【日】  
得00212002700202  
【日】

立石電機 26 (1412-146) 10 北国銀行  
ジャスコ 28 (1315-132) 5 ムネカタ

日立栃木 18 (144-17) 12 東京重機

得001010132300026  
立谷生高原山屋打田水田本岸

【樺島大栗西土手前清吉山山  
日】  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

機瀨井本村田島野山前辺田田  
得003300002210  
重深石中吞森福小沖大渡安矢

GK  
審・新村  
井上

北国銀行 12 (75-56) 11 ムネカタ

得000414020100  
【北】  
得000414020100  
【北】

GK  
審・島崎  
福井

得00130113220  
【ム】  
得00130113220  
【ム】

得00130113220  
【ム】  
得00130113220  
【ム】

日立栃木 18 (137-104) 14 東京重機  
得003710033110000  
【日】  
得003710033110000  
【日】

立石電機 26 (1412-146) 10 北国銀行  
ジャスコ 28 (1315-132) 5 ムネカタ

日立栃木 18 (144-17) 12 東京重機

得00220152230004  
【部】  
得00220152230004  
【部】

【高松鈴若前若馬天高西秋川  
大】  
得00220152230004  
【高松鈴若前若馬天高西秋川  
大】

GK  
審・幸田  
福井

北国銀行 12 (75-56) 11 ムネカタ

得000414020100  
【北】  
得000414020100  
【北】

GK  
審・新村  
井上

得00130113220  
【ム】  
得00130113220  
【ム】

得00130113220  
【ム】  
得00130113220  
【ム】



フットワークはフォーメーションから生まれます。  
だれが駆けても、

**シティは、スポーツマン。**

# CITY TURBO



こんなホットな出来事は、はじめて。シティが、またまた感度をアップしました。世界初のFF1.2iハイパーターボ搭載です。華やかな開発力。一気に攻めのほろダイナミックな走り。驚くほどの低燃費。これこそホンダの考えるターボだ、との自信をみなぎらせ、いま圧倒的な速さでシティターボが駆けました。時代がピンピン反応します。ネットワークがさらに広がります。ライヴです。衝撃的です。シティターボです。ことし、最大のニュースです。

FF1.2i

**100馬力ハイパーターボ登場**

ターボ車ナンバー1  
10モード燃費  
18.6km/ℓ



# HONDA

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所



# 第8回日本リーグの話題を探る

## ロス五輪へつながる熱闘を

NHK運動部 杉山 茂

8年目を迎える日本リーグ(前期)が、6月10日熱戦の幕をあける。

緒戦(東京)にいきなり男子の強力二チーム・大同特殊鋼×湧永製薬を激突させるなど、リーグ側の意気込みの感じられる今シーズンだが、オリンピック前年、半年後には、そのアジア予選を控えるとあって、第一線に立つプレイヤーを網らする男子6、女子8チームの熱闘は、そのまま「ロサンゼルス」につながる道、内容豊かな試合がつつばつづくほど、多ければ多いほど、オリンピックをわが手に手繰りよせる可能性が濃くなる、といつてよい。

優勝、順位争いの興味や、リーグを取り巻く話題を探ってみよう。なお、本誌前号で、後期の日程が発表されているが、第3回男子アジア選手権(ソウル)と重なるため、9月以降のスケジュールは、すべてねりなおされることになり場合によって、9、10月は女子だけ、男子後期は来年1、2月に延期されることもある、と伝えられる。

### 男子の話題

今年のベナントレース(2回総当り)が面白くなるか、盛りあがるか、終るかは、緒戦の大同特殊鋼×湧永製薬戦以後に、他チームが、この両強豪を向うに廻

し、終盤ヘタイトル争いを持ちこむところにある。

大同が、湧永のいずれかが、スタートが負った傷を日新製鋼なりに、本田技研鈴鹿なりに、容しなく狙って、深傷(ふかで)にできるなら、球趣は、いちだんと高まる。

逆に、一敗の大同なり、湧永なりが、取りこぼしを許されぬ緊迫によって、いっそう戦力を引き締めて出てこようものなら、後期まで(八天王山)は望めぬだけに、エキサイトの度合が、かなり低くなってしまう。

当然のことながら、大同×湧永戦の勝者に、独走を許してしまつては、味気なさは、いっそうつ

るかの一点にかかると、大同、湧永という軸に変わりはないが、日程編成の妙から、他チームにも、(八初優勝)のチャンスが芽生えたことが、今シーズンの大きな特色であり、期待というところができよう。

6連勝を狙う大同は、日体大の高村を迎えて、中央守備網の超大型化に成功した。

蒲生(192cm)、田口(187cm)、高村(188cm)、中本(181cm)の壁は、史上最高で、GK上村の成長を考えると、前季一位の失点数を、さらに強力化させることができる。

攻撃面では、さすがの蒲生に破壊力のダウンが感じられるが、その分、巧味を増しており、むしろ若い田口、高村、田中あたりを活かすという点では、新しい成果があがってきている。

大原、柳川弟のテクニクも相変らずのものがあがり、上位との対戦では、やはり蒲生を加えたこのトリオの活躍に頼ることになる。

木野氏から津川氏へ監督のバトンが渡された湧永も、新人は中大の左腕・中川だけ、陣容は去年のままと考えていい。

山本、池ノ上、志賀、生駒、GK井藤と全日本代表をスラリと揃えた布陣は豪華の上ない。

特に、昨シーズン後期からみせ生駒の進境は、リーグの新しい看板ともいえ、池ノ上との左右コンビが、存分に力を発揮すれば、怖いものなし、の存在になる。徳積、松本の両ベテラン、新進・原田は、要所で働き手として欠かせぬ存在であり、層の厚さは大同をしのぐ、といつてよい。前回初めてAクラス入りした日

新は、ホープ・西山に欲が出てきたようなのが、たのしい。デビューした去年は、各チーム

の徹底マークに会い、非凡な腕前も散発的、日本リーグの雰囲気になれ、社会人のプレーを知った今季は、確実に、前回を上回るパワーを発揮全日本の新しきエースへのステップを踏み出すことになるのではあるまいか。

この大器の加入で、チーム全体に自信と活気がみなぎっているのもいい。

脇若(コーチ兼任)、泉、洞ヶ瀬の早大トリオを攻守の要に、藤井高木の安定は、確実に大同、湧永との差を詰めているし、故障がちな吉見も今季は期待できそうだ。

前回は、ついに入れ替え戦出場にまで落ちこんでしまった本田。全日本総合で、湧永をあと一歩まで追いこんだ戦いぶりなどを見せつけられると、いぜん、このチームの、本当の力が、いっただい、どこにあるのが、首をかしげさせられてしまふ。

いつまでも、ダークホースといわれることに甘んじてはいけないうし、(八ホンダ時代)突入ぐらいの気構えを持ってもおかしくはない戦力なのだ。

上向き象徴は佐々木の闘志。彼のリードによって三本松が地力のをぞかせはじめたし、尾上、玉井、坂本、猪野らの攻撃も、かな



日本リーグ1部年次順位

【男子】		I	II	III	IV	V	VI	VII
大同特殊鋼		①	②	①	①	①	①	①
湧永製葉		②	①	②	③	②	②	②
日新製鋼		⑦	⑦	④	④	④	⑤	③
大崎電気		④	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦	④
本田技研	鈴鹿	③	③	③	③	③	③	⑤
大阪イーグルス		⑥	⑤	⑤	⑤	⑤	④	⑥
三陽商会	景	⑧	⑧	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
三菱	レ大竹	⑤	④	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
三菱	レ大竹	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧

【女子】		I	II	III	IV	V	VI	VII
立石電機		①	②	④	⑤	①	①	①
大崎電気		⑦	⑥	⑤	⑥	⑥	③	②
ジャスコ		⑥	④	②	①	③	②	③
ブラザー工業		④	③	③	③	②	④	④
日本ビクター		②	①	①	②	⑤	⑤	⑤
日立栃木		⑥	⑤	⑥	④	⑤	⑤	⑤
大和銀行		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑦	⑦
北国銀行		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑧	⑧
東京重機		③	⑦	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
ムネカタ		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧

り安定してきた。  
 新人・立木(名城大)のセンスも買え、ことオフフェンスでは、マインスマイルは一つもない。  
 カギはGK大畑に頼りすぎのディフェンス。  
 佐藤監督は、昨シーズン終了後「一から鍛えなおし」といっていたが、その努力が表れば3位カムバックはもとより、十分、優勝争いに加われる。  
 Aクラス入りを狙う大崎電気は山本(大阪体大)、GK矢内(国士館大)と、学生界の代表的選手を迎える好補強に成功した。  
 山本は斎藤、長野、松岡、八幡につく五人目のレフトハンダー。シーズン毎に評価をあげているテクニシャン東江の闘志と技をからませたこの攻撃陣はユニークで、上位陣も油断できない。  
 矢内は、将来、全日本のゴール

を守る事が折り紙つきの逸材。  
 5月の全日本代表発表(第一次)で惜しくももれ、この惜しさを各試合にぶつけるようだと、ますます大崎は無視できぬ存在にのし上ってくる。  
 2シーズンぶりに1部復帰の三陽面会は、関、山口、坪子、金子らが健在だが、健闘のカギは、むしろ亀井(大阪体大)、伊藤(近大)の両新人や田口、砂川、望月、GK大山ら新鋭のプレーにかかると。  
 2部ぐらしの苦しさは、都会チームに、しっかり一本の筋を植えたうえで、一暴れが期待できると。  
 ・女子の話題  
 5年つづけて8チームによる1回総当り。  
 第2回、第3回に採用した2回

総当たり制の復活は、今年も、あっさり見送られた。  
 アジアで3位が「指定席」になつてしまった日本女子界は、全日本実業団や全日本総合選手権など廃れてしまつて、日本リーグの厚味を増すことや、ジュニア大会の実施を考えたらよいのだが、そんな話は、関係者の間ではなかなか交しにくいらしい。  
 2チーム(東京重機ムネカタ)だけの2部も、1部に吸収して、新しいシステムを考えたらと思うのだが、積極的な姿勢はないようである。  
 日本協会や日本リーグ運営者ももう少し「日本リーグ」というものの存在を認識して、最善の道をつねに探っているようにしないとペナントレースを情性的に続開しているにすぎなくなる。  
 こうした動きを別に、リーグが賑いをみせているのは、一年の大崎電気李コンビ加入、昨年立石電機のユーゴベア補強に負うところが大きい。

「日本チーム」「日本選手」の対抗ぶりが、新たな興味として浮かびあがって来よう。  
 男子とちがつて、前期はどちらかといえど有力チームにとつてはトライアル、タイトルのかわつた星のつぶし合いは、後期に組みこまれていく。  
 反面、前期でつまづくと、そのままBクラス落ちにつながってしまう危険がぞくわけで、惑星群のチーム力が、とりあえずのポイントといえる。  
 各監督に聞いた見通しを総合すると頂点は立石と大崎、これを追ってブラザー工業、ちょっと遅れてジャスコ、日本ビクター、日立栃木、やや下つて北国銀行、大和銀行となる。  
 大和は、秋成、若水と全日本ジュニアの主軸が、いっそう場なれして、ホームクラブでも中心の存在になつた。

若杉、鈴木の力は安定しているし、川添も迫力を増した。  
 去年までは、「一発」を狙つてという試合ぶりだったが、今年は秘かに勝ち越しを狙っているようにそれを果たすには、日立あたりを食いたいところだ。  
 北国は、オールラウンドプレイヤーを目指す左腕・八木に、いぜん、すべてが加かる。  
 150cmの小柄ながら、抜群の切れ味を誇る八木のプレーは、鮮やかなものがあるが、いつまでもそれだけでは、順位も、勝ち点もあがらない。  
 竹、藤田、中田、新人和田(小松市女)といったメンバーを、酒谷監督(コーチから昇格)が、どう使いこなすかも注目される。  
 日立は、ここ3シーズン4位、5位、6位と下降カーブを描いてしまひ、今シーズンは正念場だ。  
 調子が出かかると負傷者が出てしまふ不運に、伊藤監督も、いちはかなり神経質だったが、どうやら大高、手打を配球源、ゲームメーカーに仕立て、力を伸ばしてきた西山、藤田、実績のある前田らで浮上る見通しをつかんできたのはいい。  
 へき頭のブラザー戦をとれば波にのることができそうだが、ビクターも4年ぶりのAクラス復活に躍起である。  
 7人のルーキーを加え、練習にも欠々に気合いが入り、なかでも水海道二高から迎えた180cmの下條に注目が集まる。  
 速攻得意の池田監督も、武蔵、志村に下條という強打陣には期するものがあるようで、村上、長田中根らの巧者と合わせて、これまでどちがったカラーを打ち出そう。

この4選手は、今シーズンも引きつづき、リーグの看板であり、彼女たちのプレーをのみこんだ

味を誇る八木のプレーは、鮮やか

ホームコートでの開幕戦がジャスコというのも、巻き返しを狙うビクターにとっては好都合。もろ





いとされるディフェンスをGK渡辺が盛り立てれば、波乱のオーブニングも不可能ではない。

男子の本田と同じように、強いといわれながら、期待を裏切りつけているブラザーは、今年こそタイトルに手を掛けたい。

巧者・増水、強打・杏原とタイブの違う二技のリード役を中心に竹内、塩谷、中村、GK畑添らのライン・アップは、白神監督も

「優勝を狙える力はあると思う」というほどだ。

毎シーズン、肝心なところで星を落とす不安定が、どこまで解消されているか、また、どの局面で調子の波に乗れるかが、このチームほど重要な意味をもつところもあるまい。

ジャスコは、メンバーが一新された。

技の横山、パワーの辻木、速さ

の重村といわれた個性豊かな攻撃トリオが抜け、松岡、寺沢、GK矢部を中心に石田、鷲野らで頑張ることになる。

キャリアがモノをいう女子界だけに、この「若さ」は気になるがいったんリズムをつかめば、一気に突走る期待もかかる。

新人・近藤(市郷学園高)あたりが活躍してムードを盛りあげると、地力は十分だけに3位内キープも不可能ではない。

優勝最有力といわれる立石と大崎は、ともに自信満々だ。

大崎は、得点源・李京姫のヒザの故障が完治せず、前期はムリをさせないのでは、という情報もあるが、李相玉、西に引っぱられて徳淵、石井が充実、新鋭時実、渡部も確実味を増してきた。

地味ながら巧いサイドプレイヤーだった陽田の退いた穴は、どうやら大日でメドがついたようだしGK梅野の元気も、守りを締めている。

李相玉の好配球からくりひろげられる独得のセットオフセンスに加えて、今季は「速攻にもみがきをかけた」(谷口監督)のは、明らかに立石の守りを意識しているものだ。

追われる立ち場の立石は、エース木下、姫野が退陣、痛手をうけているが、イレシュがそびえ立っているほか藪田の奮起、岩村の安

定、江口の成長、是枝の進境などで、V4への地固めは十分ととっている、とみてよい。

安りの強さはもともと定評があるうえDKも井村、荒木と他チームが羨やむ二枚を持つ。

初めて試みたヨーロッパ遠征(4月)では、大型といわれる野嶋(松橋高)、山内(牧園高)の新人コンビも積極的に起用、自信をつけさすなど井監督のベンチワークは、相変らず光る。

層の厚さ、大黒柱イレシュの存在を考えると、昨年以上の突進でタイトルを保持しそうな気がする。

## ・2部・記録の話題

2部は男子が初の8チーム1回総当たり、女子が2チームの2回戦対抗。

男子は1部から大阪イーグルスが落ち、トヨタ自動車、本田技研熊本が新加入、本田に敗れたセントラル自動車が姿を消す、という異動があった。

トヨタは、一昨年の高校1位、下松工の若手OBに小山(早大)が加った新進、本田はベテラン田上(法大―本田技研鈴鹿)が率いている。

両チームとも悔れぬ力を持っているようだが、上位を狙うとなれば、率直に言って、まだ時間が要りそうである。

優勝争いは、イーグルス、三景中村荷役運輸の三チームにしばらくそうで、日鉄建材、大阪ガス、トヨタ車体は、ややパワーに欠ける。

女子は東京重機とムネカタのさびしい対決。

勝敗の行方より、逆境にめげず活動をつづけるその姿勢に、拍手を送るばかりだ。

リーグの一つの興味に定着してきた八記録争いVには、四つの焦点がある。

一つは、第一戦(51年9月)以来、実に70試合すべてに得点という山本(湧永)の快記録が、今季もピリオドを打つことなくつづくか、どうか。

6年連続最優秀シューター率をあげた松本(湧永)が、さらにこのタイトルを持ちつづけるか。

通算27ゴールをはじめ十三ものリーグ記録を持つ蒲生(大同)が、自からの数字を、どこまで更新するか。

一昨年のジャスコ戦以来連勝の立石電機が、いつまで無傷で突走するか―である。

なお、設立以来、日本リーグは前回までに41都道府県で開催されているが、今季は群馬、岡山、奈良で初めて行われ、いちども立ち寄っていないのは3県に減った。



# くらし、ひろげる ジャスコのカード



ファッションから食品まで  
サインひとつでお買物——。  
ご入会手続きも簡単です。お気軽にお申込みください。

## 会 員 募 集 中



- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクな  
リボルビング払い
  - 手数料なしのおトクな  
一回払い
  - お求めはいま、お支払いは  
ボーナス一括払い

● 一部地域により取扱っていない  
場合もございます。

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店  
サービスカウンター又は、販売員におたず  
ねください。



molten



MTH3 林定球3号  
● 検定球 ● 天然皮革



ごらんください。独特のリブ形状とパネル間段差。この“32面体 nonslip 構造”で確かな手かかりをつくりだしたモルテンハンドボールは、さらにナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現して、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。



**モルテン**  
**ハンドボール**

モルテンコム工業株式会社  
本社 広島市西区横川新町1番8号 733  
☎(082)292-1381(代)

# 「手がかかり」が見えた!

独自の32面体  
nonslip構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール



## 関東ジュニアハンドボール研修訪独旅行を終えて

# 計り知れない収穫

## 本場の技術、ホームステイでの心の交流

3月下旬から約2週間の関東ジュニアハンドボール研修訪独旅行に参加した一行は、憧れの本場での試合で全力を出して戦って帰国した。短い期間だったが、その技術的な収穫ははかり知れないほど大きく、また、ホームステイで、西独の人々の暖い心に触れ、ハンドボールを通しての心の交流は一行の胸に大きな感動を残したものだ。研修訪独の監督、選手たちの感想をご紹介します。



## よく戦った選手たちに敬意

男子チーム監督 小西 正寿

(栃木県立小山城南高)

3月22日火曜日、新東京国際空港に全員が顔をそろえ、不安と期待のもと4月4日までの研修旅行が始まった。幸運にも弱者者である私が男子監督という大役をお引き受けし、責任の重さを身に試みての出発であった。合同練習は、わずか2日、また、生活様式が全く異なる地での試合、何をとっても不安だけという状態であった。しかし役員、選手一同、ハンドボールのメッカである西ドイツで、本場のハンドボールを体験できるという期待のもと成田を出発、3月23日、西ドイツに無事到着、西ドイツでの生活が始まった。

翌24日より、第1試合の開始、相手チームの情報はもちろん、自分たちのチームの状態も知らないというなか、9日間で6試合という強行スケジュールをこなしてきた。この6試合の内容について、生徒の感想を記載したいと思う。

### 第1試合

初戦ということで立ち上がり緊張がみられたが、すぐに相手チームのプレーに慣れ試合が展開でき

た。しかし、練習不足のためミスがめだつ前半であった。後半に入り立ち上がり3点連取し、このまのペースで行くかと思われたが、中盤になりミスがめだちだが、相手のまずい攻めに助けられ、残り時間6分までは4点差を保つ。しかし、相手チームのNo.7のロングがきまりだし残り1分で同点に追いつかれる。最後の攻撃権を得て、No.8(飯島)のポストシュートがきまりタイムアップ、からくも1点差で勝利を得る。

### 第2試合

相手チームは、テクニクはまだまだであるが、シュートスピードのすごさは目をみはらせられた。日本人とのパワーの差を痛感する。とにかく、男女とも第1戦を勝つことができたことは嬉しいことである。

第1戦の相手チームより上位にランクされるチームであるだけに、パワー・スピードとも目を見張るものがあった。

前半8分過ぎまで、無得点、全くと言っていいほど攻撃・防衛とも



に精彩がなく、大量得点を許してしまふ。後半に入り追い上げに入らるが、前半の点差が響いてしまふ。前半2点でも1点でも得点し、失点を少なくしていれば、後半の戦いぶりでは、これほど点差の開いたゲームとならないと思えた。

相手チームは、No.13のワンマンチームといった感があるが、ポストとのコンビプレーもよくとれていた。

2試合目となり徐々に1人1人のプレーを皆が理解できてきた、今後の試合展開を明るいものとなるだろう。今日は疲れが最高頂だったのか、後半の半ばを過ぎ足が止まってしまふ。

### 第3試合

ホストクラブであるベッセルゲンとの対戦で、相手に対する不安はなく、またこの試合への意気込みが全員に感じられた。そして昨日は、試合がなかったため疲れがとれ体調も良くベストコンディションで試合に臨むことができた。

対戦チームは今までのチーム以上に高さのあるチームで、身長2メートル以上の選手もいた。

前半は、点数的にはシューゲームであったが両チームともミスが多く凡戦であった。後半に入り、防衛を1-5にしたのが効を

上げ逆転に成功する。一方、TV Sベッセルゲンは、逆転されたことであせりが出てシュートがあまりなくなり、得点をあげることができなくなる。また、ゴールキーパーの好守で、相手チームのノーマークシュートを阻止し、試合に勝つことができた。

TV Sベッセルゲンも今まで同様、強引なプレーをし続けるチームであった。また、背が高いためリーチも長く、思いがけないところでパスカットをされるなどさまざまなと形態の違いを痛感させられた。

### 第4試合

試合開始早々、3点連取され、立ち上がりの悪さを見た。しかも、こちらのミスを速攻されての得点である。セット攻撃では、MTVヘレンハウゼンはポストプレーがよく、体が大きく動きがシャープなポストプレーヤーであったため、ポストに入ったパスはほとんど得点されてしまった。前半3点差をつけ、後半余裕のある試合運びとなるかと思われたが、ミスは少なくなったがゲームのポイントとなるところで得点できず相

変わらず苦しい戦いであった。しかし、後半は、ポストプレーに対する守りを、プレーヤーを守るのではなく、ポストへのパスをカットする守りとしたため、ポストプレー

ーをおさえることができた。このことは、今後のゲームに生きてこよう。

徐々にはあるが、試合を重ねるたびにチームとしてのまとまりがでてきたように思う。しかし、まだまだコンビは不十分でミスが出る。皆多少疲れきみの様で足が止まってしまふ場が再三見られた。

MTVヘレンハウゼンのポストプレーは、日本との違いをさまざまなと見せつけられた。

### 第5試合

結果的には勝ったものの試合内容では反省するべき事ばかりであった。第2、3、4戦とベズリクスリーグ(地区リーグ)のチームとの対戦で自信を得たのか、一ランク下のクライスリーグのチームというところで、皆知らず知らずのうちに気を抜いていたのかもしれない。そのためか、前半はミスだらけ、それも基本的プレーであるパス、キャッチのミスばかりであった。また、防衛においても、つめ遅れからステップシュートやスタンディングシュートで相当得点を許した。

今日の試合は、勝負では勝ったが内容では負けたものであった。西ドイツでの試合も明日のVfLハメルン戦を残すばかりである。西ドイツのプレーになれ何か気の

ゆるみもでてきているように思える。また新に気持ちを引きしめて、明日の試合に望む必要があるように感じた。

### 第6試合

今日対戦するVfLハメルンは、ベズリクスリーグで今季1位となり来季よりファーストオーバーリーグ(州リーグ)への昇格のきまったチームである。今までのチームにない強さを身にしみて感じさせられた。たとえば、パワーという点ではかわりはないが、攻撃におけるコンビプレー、ブロックプレーをうまく利用してのポストプレーや中央にディフェンスを寄せ早いパスでのサイドへの展開、フロッターから逆サイドへの展開等、すばらしいものであった。また、前半は、センタースリーにおける45度プレーヤーの力強い1対1のプレーを中心に攻撃が展開されるが、後半に入ると、サイドプレーヤーの攻撃が中心となるなど、チーム戦術も今までのチームにないものであった。

防衛も、よく足が動いており、あまりシュートやミスプレーは、すぐに速攻につながれた。しかし、防衛は日本のように前へつめるのではなく、間を割られないような守りが中心であった。私たちが最終戦でかつ対戦チームのなかで最も強いチームという

冴えるパワーク  
君の勝利球



★ MIKASA  
ミカサハンドボール

MGH2 ¥4,500(検定球)

MGH3 ¥4,600(検定球)

デザインが感触が新しい!

明星ゴム工業株式会社  
広島・東京・大阪・名古屋・福岡



こともあり、精神的にも充実し試合に臨み、継ぎの速攻を中心とする攻撃で対抗する。しかし、立ち上がり5分過ぎまで、浮き足だったのか4点差をつけられるがなんとかふんばり前半を2点差で折り返す。

後半に入り、一度は逆転に成功するが、その後は一進一退の攻防をくりひろげる。残り時間3分で1点リードするが、相手もここぞという場面では確実に得点をあげ、ふたたび1点リードされる。ここで勝負をあせり、逆に相手のリードを広げられゲームセット。今日の試合は、敗れはしたものの西ドイツ遠征のしめくりとしては、納得のいくゲームであった。ひとりひとりが皆で戦ったという気持ちが持て、くやしい試合だったが壮快であった。

### 計り知れない収穫

以上のように6試合を行ってきたが、試合を重ねるたびに選手個々の力またチームとしての力も確実に向上してきたように思う。そして、これらの試合の経験が、帰国後十分に生かされることのできると思う。

なにはともあれ、10人の選手で、十分な練習をつまず、よくこまめに戦ったものと思ふ選手の諸君に敬意を表わしたい。そして、この経験を自分たちのものとせず日本

のハンドボール界に貢献してもらいたいと思う。

さて、西ドイツ遠征で最も印象に残ったものは、生徒同様やはりホームステイにおける各家庭での生活だった。私がホームステイをした Frick 家では、両親の Hans 氏、Eike 夫人、そして娘の Claudia と家族同様の世話を受け、心から感謝している。空港での別れの時は、胸から熱いものがこみあげてくるのを感じた。そして "See you again" と繰り返し必ずの再会を約束した。ホームステイにより、私たちは、多少ではあるがドイツ人の生活や考え方に

## 最高の思い出対ベ戦の勝利

駒大高校1年 竹下 誠

4月4日、17時20分、成田空港に到着しました。

行きの飛行機の中、これから2週間も日本を離れてしまうのかという不安と、これからどんなことが待ちうけているのかという、大きな期待とが入り混じった複雑な心境でいきましたが、時が過ぎるのは早いもので、あっという間に2週間が過ぎ去ってしまいました。

今、ふと目を閉じると西ドイツでの思い出が次から次へと頭に浮かび、まるで昨日のこのように思えます。それらは私にとって生涯忘れることのない貴重な体験とな

あるがドイツ人の生活や考え方にふれることができたように思える。

ハンドボールということに関しては、ひとことと言ひ表わすならば、西ドイツのすごさを感じとった。西ドイツのハンドボール界のごく一部を垣間見たにすぎないが、ハンドボールへの関心度、技術的にも戦術的にも奥深い広がりを感じられた。そして、日本においてもこのような広がりがあったならばと思わずにはいられなかった。

そうして、試合を振り返るといろいろなことが思い出されます。悔いの残った試合、全力を尽くせた試合、その中でも一番思い出深いのは、やはり対ベットベルゲンの試合です。

「あの20mのロングシュートは絶対に捕れない。あの10mのキーパーはどんなシュートでも捕ってしまう。絶対に勝てる訳がない。」初めて見た時には誰もがそう思いました。しかし、私達は絶対に勝ちました。その気持ちがよくプレーに出ました。多少のミスもあり

ましたが、みんなで盛り上げ、みんなでシュートを入れ、みんなでシュートを止め、みんなで攻め、みんなを守り、絶対に勝てないと思っていたベットベルゲンに勝ったことは言葉では表現できない程うれしかった。が、その試合の終了間際、私は足首をねんざしました。今思うとたいへん悔やしいです。私がおねんざしなければ、その後の試合がもっと楽に出来、ハメルンにも負けなかったかも知れません。しかし、そのことはもう後悔しません。

西ドイツにいる間、ホームステイしてお世話になったおじさん、おばさん、息子のトイステン、彼らはとても親切にしてくれ、細かい所まで気付けてくださいました。食事が合わないと思うと、おばさんが一生懸命、御飯や中華料理を作ってくださいました。おじさんは仕事を休んでまで、私達に付き合ってくれ、町にも案内してくださいました。彼らの親切心には心を打たれ、涙がこみあげることもしばしばありました。

しかし、私の語学力では意志が通じなく、自分の勉強不足を改めて痛感し、やるせない気持ちになりました。それでも、おじさんやおばさんが慣れない英語を一生懸命使ってくださいって、私も少しずつ英単語を並べただけに近い英文

ではありましたが、話すことができるようになり、彼らの考えも、私の考えも、お互いに通じ合うようになりました。また、ベットベルゲンの人達もたいへん親切にしてくださいました。

私達の観光に同行していただいたり、めんどろなことも少しも嫌がらずにしてくださいって、試合の応援までしてくださいました。彼らは私達の行動すべてに気付けてくださいました。

私のねんざをみんなで心配してくださいって、激励してくださいました。これらすべての感謝の意をダンケシエンを何度繰り返して言っても、まだまだ物足りない気がしました。

お別れの日、スポーツパークへ見送りに来てくださった人達に固く握手をしました。チームメイトには涙を見せる人もいましたが、私は涙を見れば別れがもっととつらくなると思い、じっと我慢してパスの窓から手を振り続けました。しかし、そのうちに、我慢も限界にきて、自然と涙が流れだしてしまいました。それを見たベットベルゲンの人達は励ましてくれました。そして私は彼らとまたかならずベットベルゲンを訪れることを約束しました。空港での別れはもっともつづらかったです。おじさんやトイス



テンと目が合ったとたん涙を流さずにはいられませんでした。そしてベクトルゲンの親切な人達を見てみると、このままずっとここにいたいと思う程でした。そして、涙が止まった時、私は再び、かならずここを訪れることを固く心に誓いました。

その後、ロンドンやパリを訪れました。ロンドン塔、ルーブル美術館、モンマルトルの丘、エッフェル塔、素晴らしいものはたくさんありましたが、西ドイツいやベクトルゲンの素晴らしさにかなうものは何もありませんでした。今回の西独遠征に参加でき、願

## 生かしたい貴重で大きな経験

浦和市立高校 2年 森 永省 一 (F.P)

まず、試合で感じたことは、高さのパワーがすごいということだった。

長身を生かしたロングやミドルは、DFのつめが甘いと、確実に点に結びつけていた。

また、ステップシュートもDFのすきについては狙ってきていた。

ポストプレーも最終戦ではプロックプレーを使っていたものの、それまでの試合では、強引にポストに入れてくるケースが多く、ポストもパスを受ければ強引に打っ

間の田中先生にたいへん感謝し、そしてそれと同時に団長の三浦先生を初めとする諸先生方の努力に深く感謝しております。また、参加を許してくれた両親にも感謝したいです。

遠征中、大きな失敗もありましたが、この遠征で得たことすべてを私のこれからの人間性の向上と共に、ハンドボールの技術向上に役立つよう努力し、全力を尽くして頑張りたいです。

そして、これからの関東のハンドボール及び日本のハンドボールがより一層繁栄することを願っております。

ロング、ポストとともに、マンツーマンで強引に割ってくるプレーも多用していたが、速攻はあまり多くは使われていなかったように思われる。

DFについても、高さを利用して、正直に打っていったのでは止められてしまっていた。

二次速攻や、スピードをつけた攻撃などがききめがあった。高さ、パワーとともに、スピードの必要性、フットワークの重要性を痛感した。また6試合を通して、技術

的なものだけではなく精神的なもの的重要性も改めて感じた。

この遠征で、ハンドボール技術の取得だけでなく、ホームステイなど多くのことを体験したこと、これからの生活の中でおおいに役に立つことだと思ふ。

1人でホームステイをする時知った時は、不安でどうして良いかわからず、最初に家に行った時など、次から次へと話しかけられ、自分では、わかっていなくても、自分に、あせてしまつて、自分の言いたいことが言えなくなつたり、何を聞かれていのかわからなくなつてしまつたりして、無言の状態が続いたりもした。

しかし、2、3日もして、慣れてくると、だいたいのは通じるようになり、楽しくなつてきた。

家族の人はとても親切に接してくれ、ドライブやショッピングなどにもつれていってくれた。

試合から帰って、その日の試合や観光したことなどひとつひとつ苦勞しながら証明したのも忘れられない思い出のひとつだ。短い期間だったけど、楽しかっただけに、別れが本当につらかった。

しかし、別れたとしても、友達であるし、お世話になったことや楽しかったこと、素晴らしい西ドイツの自然や、美しい街並などは忘れることができないと思う。

この遠征で見えてきたこと、感じできたなどは、自分のこれからの生活にとって大きな経験として、大変貴重なことだと思ふ。

## 『西ドイツ遠征雑感』

女子チーム監督 原 信 雄

(藤村女子高等学校)

ホームステイの素晴らしさ  
出発前は、何かと不安だった「ホームステイ」……。ドイツ人の家庭にお世話になる……。言葉は？ 食事は？ 生活様式は？ 特に女子高生の場合には？ 等々心配だらけだった。今思えば本当に恥しい、取り越し苦勞だったようだ。

私達は身にあまる歓迎を受け、大事にされ、暖かくもてなされた。ドイツ人気質なるものを多少なりとも予備知識として理解していたつもりだったが、予想をはるかに上まわるものであった。本当に親身になってお世話して頂き感謝し感激している。ベクトルゲンのスポーツパークでのお別れの際、更に空港のお見送りの時、ホームステイの家族の人達と選手が抱き合つて泣いていた姿を想い出す。ある母親が日本の選手を抱きかかえながら「大事な娘をとられる思いだ」と。私はそんな情景を見ながらも涙を流さずしてしまつた。なんとすばらしい、美しい姿だろう。ホテル等に泊っていたらどうても味うことが出来なかつた。うわべだけの絵に描いたようなものでなく、本当のドイツ人と日本人の生きた、木物の心の触れ合を感じた思いであった。

ハンドボールの本場西ドイツは、まさにその名にふさわしいところだと思つた。私達が訪れた町の町にも立派な体育館があり、ハンドボール競技が出来るものであった。どの試合にも大勢の観客が詰めかけ熱気ある応援ぶりである。ラッパを吹き、太鼓を叩き、口笛を鳴らし、あげくの果ては足踏みして床を鳴らして声援する。敵味方なくナイスプレーには惜しみない拍手を送る。観戦するというよりは白らが楽しみ、白らがエキサイトして競走しているような感じがする。試合の合間等に子供達が出てきてハンドボールを楽し



んでいる姿は、ほほえましく思うと同時にハンドボール人口の底辺の広さをつくづく感じさせられた。

試合は6試合行った。女子チームの成績は5勝1敗で上出来だったと言えよう。出発前には1勝でも出来ればと思っていたのだから。最終戦の相手チーム、ハメルンは後で聞いたところによると、西ドイツでベスト4位にランクされる強豪で、ナショナルプレーヤーが4名も出場していたとの事で驚いた。2点差で負けたものの、内容的に充実した試合だったと思う。

私達が対戦した西ドイツ少女チームの特色を気の付くままに記したいと思う。

- 一、速攻(スピード)はあまりない。
  - 一、体格は優れていた。
  - 一、ディフェンス、特にF PとG Kとのコンビのよさが目についた。
  - 一、スタミナ、パワーがある。
  - 一、個人技、特にフイント力が優れている。
  - 一、シュートの確実性、ねばり強さがある。
- みんなが楽しんでる
- 西ドイツのハンドボールチームは、日本の学校中心のクラブ活動に対し、地域社会におけるクラブ

組織で活動がなされている。そして、年齢、能力(技術レベル)により、各層様々なチームがあり、それぞれ独自の方針に基づいて運営されているようである。これはハンドボールだけでなく西ドイツのスポーツ界に全てあてはまる、日本とは異なる特徴であろう。

更に日本のハンドボールは、あまりにも勝敗にこだわらすぎるといふ感じがした。西ドイツのハンドボールを見ていて、幼い頃よりハンドボールに親しみ、ハンドボールを楽しんでいるという感じがした。友達と、あるいは家族と一

## 本場の技術、人々の親切に感激

藤村女子高校 南出 有実子

待ちに待った西独開東ジュニアハンドボール研修旅行が、3月22日成田空港を出発して始まりました。

翌23日、不安と期待の交差する中でハノーバーに着きました。スポーツパークでは、TUSベクトベルゲンの人々の出迎えて異国に対する不安がいくらか安らぎました。と同時に試合に勝てるのかという新たな疑問がわいて来ました。西独のハンドボールのレベルは、高いと聞いていますが、ベストを尽して頑張ってみようと思いました。

結にハンドボールを行う。ハンドボールというスポーツを通して幅広い人間関係がなされているように思える。西ドイツのハンドボールは誰れにでも出来る気軽なスポーツなのである。(日本の野球、バレーボール、テニスといったところだろう)。

誰れもがハンドボールをよく知っている。ルールも技術も皆んなが知っている。まさに国民的スポーツなのである。だから頂点に位置するチームはおのずと強くなるのであろう。やはりハンドボールの本場西ドイツなのである。

## 本場の技術、人々の親切に感激

藤村女子高校 南出 有実子

しかし、ホームステイではどんな家庭に入るのか、また不安がよぎりました。私のお世話になる家はミスター・オピッツ、同じ年頃の娘さんがいました。同じ学生なのでなんとかやって行けそうな気がしました。

翌24日、10時から私達のチームの練習が始まりました。時差の影響で体が思うように動きませんでした。夕方6時から試合が始まり、5分経過後、手ごたえがなく、やたら私たちのシュートが決まり、そのとき、この試合は勝てるという確信を持ちました。試合

は14対10、1試合目から勝てたことが夢のようです。

それから次々と勝ち続けて5勝、最後の試合は2点差で負けてしまいました。ドイツの中でもベスト4に入るチームで今までの中では最強チームでした。後で知ったことですが、彼女達は各町のクラブチームで日本の様に組織的に練習をしていないそうです。でも、このように自由に練習を行いハンドボールを楽しんでいる人々は、おおらかさがあるような気がしました。ジュニアは弱いけれども、各クラブの生え抜きがシニアに進むと聞き、日本より層が厚いと思えました。ホームステイでは言葉が分からないので何を言っているのか困りました。

幸いに私は通訳の人と同宿でした。でも、だんだん日が過つにつれて身振り、手振り、知っている英単語でなんとか意志が通じるようになりました。ホームステイの家の人がスポーツパークへの送り迎えをしてくれることも大変なことだと思つくと、感謝の気持ちでいっぱいでした。

本場のハンドボール技術を自分の目で見た感激は大きい。また、ハノーファーの人々の親切はとてもうれしく感じました。

今後の学生生活、人生経験において大きな役割りを果たすような気がします。

実績と信頼の公式試合球

# イルマボール



● ALL OVER THE WORLD  
**IRUMA**  
ハンドボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社  
東京・埼玉・大阪・名古屋





“まごころのおつきあい”が  
私たちのモットーです



あなたの銀行

ホク コク

**北國銀行**

●本店 石川県金沢市下堤町 ●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店



ブラザー電子タイプライターが  
1984年ロサンゼルス  
オリンピックの  
公式タイプライターに  
選ばれました。

Electronic  
Office  
Typewriters

**brother**  
ブラザー工業株式会社







ドイツ×チェコ、スイス×スペインは予選リーグの記録を適用。

【順位】①ハンガリー3勝1分1敗(得失点差19)②チェコ3勝1分1敗(15)③以上オリエンティック出場権獲得④西ドイツ3勝1分1敗(4)⑤スウェーデン2勝3敗⑥スイス1勝1分3敗⑥スペイン2分3敗。

【個人得点ベスト10】①ベルホフスタット(ベルギー)46②ウンダリッヒ(西ドイツ)45③P・コバク(ハンガリー)44④アラソン(アイスランド)34⑤バルテク(チェコ)、セリネ(フランス)、ヨシポビツ(イスラエル)、タルカラノフ(ブルガリア)31⑥ウリア(スペイン)30⑦J・ムニョス(スペイン)、スヨルグレン(スウェーデン)28。

### ゲンメルスバッハなど勝つ

～ヨーロッパ・カップ～

昨年秋から約7カ月にわたりヨーロッパ各地を熱狂させていたヨーロッパ・カップ三大大会が、このほど全日程を終了、栄光のチャンピオンチームが決まった。

三大大会とは、伝統のヨーロッパ・カップ、カップ・オブ・カップス(ウイナーズ・カップ)、IHFカップの各トーナメントで、いずれもヨーロッパ各国の代表的クラブチームが出場する。なかでもヨーロッパ・カップは

各国のチャンピオン(全国リーグ勝者)が集い、世界最強のクラブを決める大会として声価が高い。カップ・オブ・カップスは、各国が全国リーグとは別に、勝ち抜き戦を行ない、その勝者によって争うもので、一本勝負に強い異色の有力チームが戦うため波乱が多く、人気を集めている。

IHFカップは、昨年からは始められたもので、各国の3～4番手のクラブのための大会。強打を誇るエースのワンマンチームなど個人技の多彩さが魅力という。今シーズン特筆されるのは、ソ連勢が5大会の決勝へ進出、四つのタイトルを握ったことだろう。

◇第23回男子ヨーロッパ・カップ決勝  
VfL・ゲンメルスバッハ(西独) 19(613-7) 15 チェスカ・モスクワ(ソ連)

◇第7回女子ヨーロッパ・カップ決勝  
SK・マデブルグ(東独) 27(1413-8) 21 R・K・オシェイク(ユーゴ)

◇第22回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 22(1012-6) 20 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第2回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 23(1112-9) 16 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第2回女子IHFカップ決勝  
オーストリア(ソ連) 20(911-7) 14 S・C・エイボール(東独)

1勝1敗 58-48でスカ・ミンスクの優勝

◇第2回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 22(1012-6) 20 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第22回女子ヨーロッパ・カップ決勝  
スバルタ(ソ連) 23(149-8) 19 キ・ベルグ(ユーゴ)

◇第7回女子ヨーロッパ・カップ決勝  
SK・マデブルグ(東独) 27(1413-8) 21 R・K・オシェイク(ユーゴ)

◇第2回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 23(1112-9) 16 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第2回女子IHFカップ決勝  
オーストリア(ソ連) 20(911-7) 14 S・C・エイボール(東独)

◇第2回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 23(1112-9) 16 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第2回女子IHFカップ決勝  
オーストリア(ソ連) 20(911-7) 14 S・C・エイボール(東独)

◇第2回男子IHFカップ決勝  
スル・サポロシエ(ソ連) 23(1112-9) 16 I・F・K・カールス(スウェーデン)

◇第2回女子IHFカップ決勝  
オーストリア(ソ連) 20(911-7) 14 S・C・エイボール(東独)

注目のゲンメルスバッハ×チェスカは、互いにホームゲームを落とすという珍しい結果になった。

第1戦、モスクワへ乗りこんだゲンメルスバッハは、西ドイツのエース、ウンダリッヒの快技とGKティエルの活躍で4点差をつけて先勝、ストレート勝ちも固いと思われた。

一万三千の大観衆を集めた第2戦、チェスカはすばらしい闘志をみせ、まれにみる好試合となった前半奪われた3点差を追うゲンメルスバッハは、後半いちどは逆転に成功したが、チェスカも粘り26分13-13、残り10秒バランのゴールで鮮やかな勝利をあげた。

初のヨーロッパタイトルに輝いたスカ・ミンスクは、ソ連の新鋭チームでカルシャケビツチが2試合で19ゴールを叩き出している。女子ではスバルタ・キエフがついに9回目の栄冠を飾った。そのままナショナルチームともいってよい布陣は、他を寄せつけない強さがある。

カップ・オブ・カップスはすさまじい展開になり、R・K・オシェイクが規定勝ちして二連勝を遂げた。

日本のファンには、おなじみがあるが、本場の試合はホーム・アンド・アウェイによる二試合制が常識。

乗りこみの不利は否めないところ

るで、そのため、例え敗れても、相手のホームコートで何点奪ったかは、強さの一つの目安になる。

R・K・オシェイクはユーゴの名門で、立石電機に加っているイレシュのホームクラブとして知られる。

なお、男子のヨーロッパ・カップの勝者(VfL・ゲンメルスバッハ、西ドイツ)とカップ・オブ・カップスの勝者(スカ・ミンスク、ソ連)による「ゴールデンカップ」の結果は、次号でお伝えしよう。

### 加藤のRWは惜敗

日体大卒業後、西ドイツへハンドボール留学している加藤典代選手が所属する「TUS・R・W・アウエルバッハ」は、このほど今シーズンの全国リーグ(ブンデス・リガ)の全日程を終え18戦8勝6分4敗で南地区4位、惜しくも南北4チームによるプレイ・オフへの出場は成らなかった



# 1982年世界男子ハンドボール選手権大会

## における入賞した12チームのシュートに

### 関する調査と分析

#### ■シュート効率は絶えまなく上昇しつつづける

#### 10投のうちおよそ6投はその目的を達した

小西博喜 訳

#### 1 調査方法とその評価

シュート効率—全シュートに対するゴールの百分率は、あるチームの攻撃のよさを評価するのに非常に有効である。したがって、1982年世界男子選手権(WM)の時に、個々のゲームにおける全シュートとその経過について調査がなされた。以下調査結果について総計7つのWMの試合における12位までのチームの値がまとめて報告されている。

そして、調査されたチームのシュート効率が総計7つのWMゲームからの平均値とともにあらわされている。

#### 2 結果

##### 2-1 シュート数

表1は、まず第一にすべての7

表1 7試合(WM), 全体におけるシュート数

国名	シュート数	世界選手権の順位
1. ソ連	300	1
2. ユーゴスラビア	290	2
3. ルーマニア	289	5
4. 東ドイツ	280	6
5. スウェーデン	277	11
6. スペイン	277	8
7. ポーランド	269	3
8. チェコスロバキア	267	10
9. デンマーク	260	4
10. ハンガリー	258	9
11. 西ドイツ	227	7
12. スイス	210	12

表2 7試合(WM)のシュート効率

国名	シュート効率 (%)	世界選手権の順位
1. ソ連	68.0	1
2. ユーゴスラビア	63.1	2
3. ルーマニア	60.8	5
4. ハンガリー	58.9	9
5. デンマーク	57.6	4
6. スウェーデン	57.4	11
7. 西ドイツ	56.3	7
8. チェコスロバキア	56.1	10
9. ポーランド	55.0	3
10. スイス	52.8	12
11. スペイン	52.7	8
12. 東ドイツ	50.3	6

つのWMゲームにおいて、各チームにより打たれたシュート数の総計である。それによると、最多シュート数は決勝戦出場チームのソ連とユーゴスラビアの手に落ちた。これらの興味ある結果を評価

する際、第一に世界最高のチームは、概してきびしい投球訓練を意のままにこなすということとを考慮に入れるべきである。さらに、個人や協同の組織的なプレー、あるいはチームの戦術的

なフォーメーションがまず各々のシュートに先行することの事実を十分認識しておかなければならない。したがって、シュートチャンスの率が高いのはよく考えられた組織的な戦術的フォーメーション

の間接的なひとつの証明として評価されるものである。  
これは特にその2つのソ連とユーゴスラビアのシュート数と西ドイツのシュート数を対比してみた時に明らかとなる。

DHB (西ドイツハンドボール協会) 選抜はソ連より平均して1ゲームあたり10・5本シュート数が少ない。それは具体的には次のことを意味している。すなわち、西ドイツはシュートチャンスが25%も少なかったことになる。全体的にみると、西ドイツはシュート数に関しては12チーム中ピリから2番目の下位に位置している。この結果は、ソ連と比較して1ゲームにおける西ドイツの攻撃の手際のふがいなさの影響があらわれていることの結果を証明している。すなわち、攻撃においては「まぐれな行為」ではシュートチャンスはわずかにしか得けないということである。

#### 2-2 各チームのシュート効率

表2は、7試合におけるシュート効率を対象にした12チームの順位である。興味あることは、ここでも2つの国(ソ連・ユーゴ)が最も高いシュート効率を示している。特に著しいのはソ連のシュート効率で10投中6投のシュートは効果的であった。表はまた東ドイツのシュート成功率の悪さも明らかにしており、シュート効率は約



図1  
1982年WM上位8チームにおけるシュート効率の比較

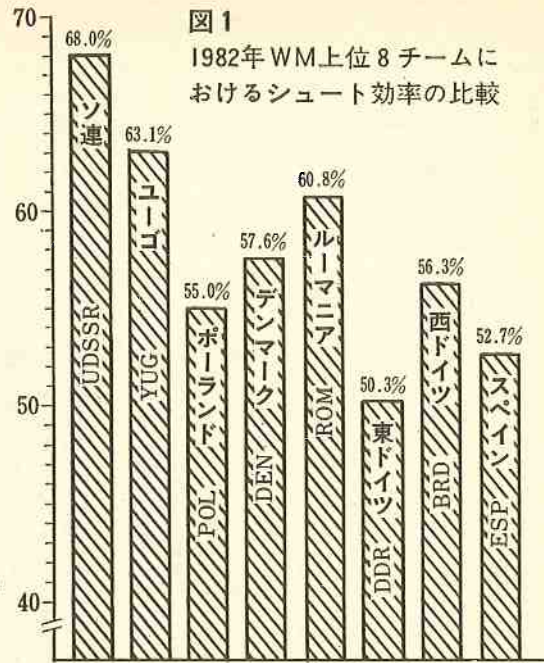
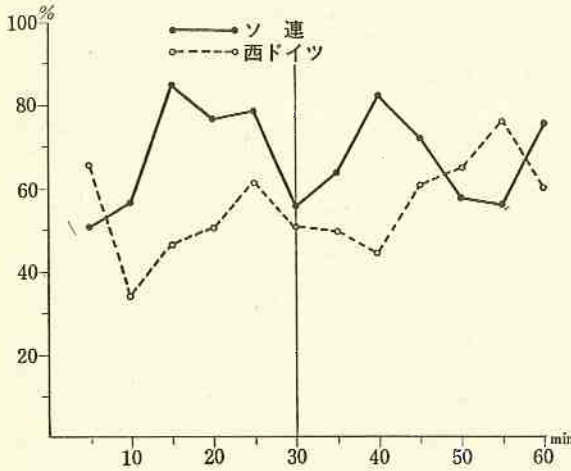


図2  
1982年WMのソ連と西ドイツのシュート効率曲線の比較

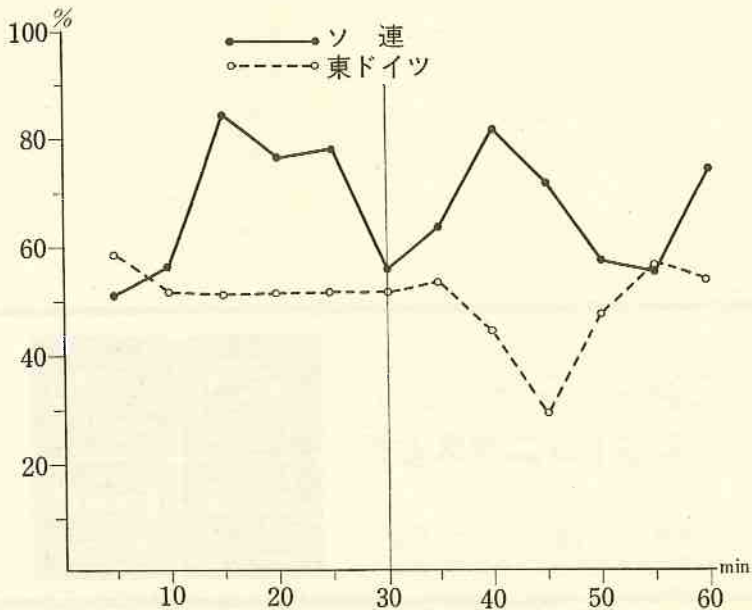


50・3%で最下位に落ち込んでいる。図1は、1982年WM上位8チームのシュート効率を今一度グラフにしたものである。2-3 試合における各種状況のシュート効率

図2は以下の全試合時間(60分)にわたってのシュート効率が5分間づつ区切られた12の区分にしてあらわされている。その際、各々のチームの全試合におけるシュート数と実際の得点数が5分毎の区切りで一括してあらわされた。したがって、ソ連と西ドイツのシュート効率曲線の比較が明らかとなっている。ソ連は12の試合時間区分のうち、9つにおいて、部分的に顕著な高いシュート効率を示している。その曲線は、前半、後半に各々2つの著しい高い時点を描いている。

(前半の10〜15分、20〜25分と後半の35〜40分、55〜60分)これらの試合時間区分においてあるシュート効率は80%以上にまで達していることが明らかである。(それも7つのWMの試合の平均において)それに対して西ドイツの曲線は平凡な水準より上に本質的にはよりならされた(水平的な)カーブを走っていることがわかる。(すなわち、顕著な高い時点がみられない)ただし、前後半の経過においてそれが上昇傾向の

図3  
1982年WMにおけるソ連と東ドイツのシュート効率曲線の比較



カーブを示すならの話であればまた別であるが、結論的にいえばここでは次のことが明らかである。すなわち、ソ連チームの試合の経過を觀察すると、技術-戦術的能率の中でひとつの突発的に急上昇する性質のパターンが起っているということである。それに対して西ドイツは個々の長い試合時間にわたって、ただ中間レベル程度のシュート効率を示しているに過ぎない。後半の終りころになって、やっといくらかのシュート効率を高めることに成功している程度である。

図3は、ソ連と東ドイツのシュート効率を対比させたものである



表3 1970年以降の各種国際試合についてのシュート効率

大会名	シュート効率 (%)
世界選手権 (1970)	41.3
オリンピック (1972)	49.1
世界選手権 (1974)	50.5
世界選手権 (1982)	57.6

が、さらに著しい相違点がみられる。それは東ドイツがどの試合時間区分においても半分ペースのおよそ50%の水準を上まわったシュート効率しかあげていないことである。それどころか後半の中ほどはこのチームの攻撃においてひとつの大きな落ち込みさえ伺われる。(40〜45分間の間において30%足らずのシュート効率)

2-4 1982年WMのシュート効率の比較

続いて、WM参加チームによって得られたシュート効率の値がいかに評価されるかが観察されるべきである。

表3において、1970年以降の4つの主な国際大会の際、各チームの全試合におけるシュート率がまとめて示されている。それによれば、1970年と1982年の間に世界最高のチーム等は、シュート効率を41.3% (10投中4投の得点) から57.6% (10投中6投は得点になる) へ高めることができた。これは具体的にいえば12年以内でシュート率はおよそ50%近く高めることが可能であったということである。

3 総括

この非常に大きな効率上昇の原因は、技術・戦術的領域、例えば60年代の走る技術の本質 (jab play) から組織的により効果的なコンビプレイ (combination play) へと、またより広いトレーニング範囲の運動領域、そしてより大きなトレーニング強度の習得などの訓練が重要な鍵となっていると考えられる。

2-5 個々のチームのシュート効率の比較

表4では、同じ大会における総計7つのチームによって得られたシュート効率の数値がまとめてあらわされている。すべてのチームは多かれ少なかれシュート効率の漸進的な上昇傾向をあらわしている。

面白いことに、ただひとつ東ドイツだけが1982年のWMは50.3%というシュート効率で1974年のWMで得た値に達しなかつただけでなく、1972年のオリンピックの時の値に逆戻りしてしまった。各々の優勝チームによって得られた値を比較すると、1982年のソ連は1970年の覇者ルーマニアと同様に世界の覇者となるために、70%程度のシュート効率の向上を必要としたことが明らかにされた。

表4 各大会ごとのシュート効率の比較 (太線の数値は各々の大会の優勝チームの値である)

国名	WM	オリンピック	WM	WM
	1970	1972	1974	1982
ソ連	—	52.3	59.5	<b>68.0</b>
ユーゴスラビア	51.1	<b>58.1</b>	50.0	63.1
ポーランド	—	—	46.4	55.0
デンマーク	39.2	—	35.9	57.6
ルーマニア	<b>40.3</b>	47.3	<b>52.4</b>	60.8
東ドイツ	44.1	50.3	53.8	50.3
西ドイツ	40.2	43.7	—	56.3

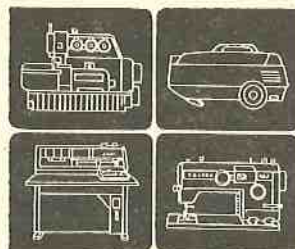
1982年のWMにおいて、他のチームと比較して西ドイツによって得られた数値は、とりわけ強調されるべきである。すべての結果 (シュート数、シュート効率) については、WMの試合における各々のチーム成績の順位がほとんど明白に証明している。7つの試合経過において、特に西ドイツは攻撃面における明確な技術・戦術上の効率向上を達成することに失敗した。

求められる。したがってひとつの点で、WMに向けてこのチームの準備プラン上に「結果」がその事実を裏付けている。

それはコンディショニングの点において、このチームは多くのことを自ら確認することができたということである。(図2を見よひとつのシュート効率の増大が試合の終りにあらわれていることも明らかである)

マシンから…  
エレクトロニクスまで

工業用マシン・家庭用マシン・電子機器  
編機・家庭電気製品・縫製付帯機器



ジューキ

東京豊橋工業株式会社

営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23  
電話03(203)8241(大代表)



# 週に一度はスポーツを

健康づくりは毎日の快眠・快食から…  
それに適度なスポーツも  
欠かせません。  
私達は皆様の健康を願って  
薬品づくりに努めます。



滋養強壯・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB<sub>1</sub>・肝臓の解毒エキス・ビタミンB<sub>12</sub>製剤

## キョ-レオピン

●薬用人参・牛黄・ビタミンB<sub>1</sub>・にんにく抽出エキス製剤

## レオピンファイブ



湧永製薬株式会社

本社 〒533 大阪市福島区福島3丁目1番39号  
TEL.(06)458-8901(代)  
中央研究所 〒729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲田1624  
広島工場 TEL.(082645)2331

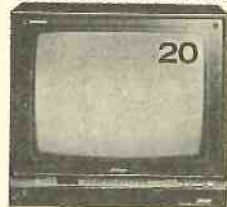
**Victor**



1フットボールこころをこころ

**NETWORK**

昭和56年度  
通産省選定グッドデザイン商品



システムカラーテレビ  
**20型AV-20 ¥210,000** (リモコンを含む)  
(アンテナ・工事費別)

■3系統の映像入力端子を装備 ■高解像度350本のくし形フィルター採用 ■消費電力:97W (リモコン待機時3.7W) ■外形寸法:横幅52.2cm(リフレクター取付け、最大開口時75.8cm)、奥行48.8cm、高さ48.3cm(脚含む) ■重量:27.3kg(リモコン送信機含む)

Victor  
JVC  
日本ビクター株式会社

※ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は(〒100)東京都千代田区蔵が関3-2-4 蔵山ビル 日本ビクター情報インフォメーションセンター (TEL.東京03-580-2861)へ、  
(ビクターローン)ご子算を生かしたゆとりあるプラン……ビクターローンシステム(銀行ローン、Lプラン)をご利用ください。ボーナス時増額返済も可能です。

コートに出ると仲間とのわだかまりが  
消えてしまおう、不思議だなあ。

さう、ちよつとしたことでチームメイトと心のわだかまりを残してしまつた。でも、一度コートに出ると、そんな心はいつの間にか消えていた……。こんな経験、あなたにはありませんか。チームワークって素晴らしいものなんだよね。ビクターのニューカラーネットワークも、鍛えぬかれたシブブルなボディの中に、ビデオ・オーディオ機器との絶妙なチームワークと限りない発展性を秘めています。たとえばビデオデッキやビデオカメラ、ステレオなどのシステム化、さらにビデオディスクをはじめキャブテンシステムやホームコンピュータなど新しい映像ソースを自在に楽しむ新技術など、など。我らのハンド仲間にはぜひ加えたい。

先進の個性



# 評 関東学生

## 春季リーグ戦

### 総

学連委員長 浜田 浩和

### 男子一節 筑波4シーズンぶり の優勝

●関東学生春季リーグ男子一節は4月23日から5月21日まで、東京駒沢屋内球技場と同体育館で開催された。春季リーグは各校とも主力選手が卒業して、新チーム編成まもなくで、混戦が予想された。リーグ前の予想通り筑波、日大、国士、中大の間で優勝争いとなった。この中で中大が、第4戦の法大に22-23で敗れる波乱が起きた。また慶大は、この4校と全て5点差以内の接戦を演じ苦しめた。第4戦を終り筑波、日大、国士が4連勝でトップに並び、前述4校による星のつぶし合いで、優勝の行方が決まる運びとなった。第5戦に、優勝候補最有力の筑波×日大戦が行われた。前半立ち上がり、日大・田口の得点でリードしたが、筑波も朝生、杉森らの得点で追い上げ、前半13-10の日大リードで終了した。後半20分まで日大は3点のリードを守ったが、残り10分筑波は5連続得点に

より逆転し、結局23-22で筑波が大金星を上げた。中大は第4戦で法大に負けムードが悪くなっているが、第5戦の国士には、実方、清家らの活躍で22-18で勝った。後半戦筑波は、朝生、原井らの活躍で中大を25-19で破り、依然として全勝である。日大×国士戦が激戦となった。前半15分日大は6-3でリードしていたが、国士も青柳、綿引らの得点で、10-10で折り返した。後半25分17-13で日大がリード、このまま終了かと思ったが、国士の猛反撃で連続3得点、しかしここでタイムアップ17-16で日大の辛勝だった。この時点で、国士、中大は2敗している為、優勝圏外に去った。

最終戦、筑波が国士に勝てば全勝優勝、負けて日大が中大に勝てば、得失点差で優勝が決まる。しかし、この場合日大は中大に12点差以上で勝たなければ優勝出来ず、苦しい状態である。筑波は前半12-1で国士をリードしているが苦しい状態で後半に入った。後半に入ると、筑波は吉兼、田中らの得点により国士をつきはなし24-

19で勝ち、4シーズンぶりの優勝を決めた。日大は中大に23-18で勝ち1敗を守り2位となった。

【戦績】  
▽4月23日  
筑波大 30 (1515) 911 20 日 体 大  
国士大 19 (127) 66 12 法 大  
中大 25 (1312) 97 16 早 大  
日大 27 (1314) 139 22 慶 大  
▽4月28日  
国士大 23 (1013) 88 16 日 体 大  
中大 33 (2310) 1911 30 慶 大  
日大 30 (1317) 711 18 早 大  
筑波大 32 (1715) 138 21 法 大  
▽5月6日  
日大 28 (1513) 814 22 法 大  
中大 31 (1714) 1110 21 日 体 大  
国士大 27 (1215) 1114 25 慶 大  
筑波大 35 (1916) 137 20 早 大  
▽5月10日  
国士大 28 (1315) 710 17 早 大

法大 23 (815) 715 22 中 大  
筑波大 22 (148) 910 19 慶 大  
日大 24 (1212) 76 13 日 体 大  
▽5月13日  
慶大 21 (1110) 109 19 日 体 大  
法大 32 (1913) 1411 25 早 大  
筑波大 23 (1310) 913 22 日 大  
中大 22 (139) 126 18 国士大  
▽5月15日  
早大 31 (1912) 98 17 日 体 大  
筑波大 25 (1411) 109 19 中 大  
日大 17 (710) 610 16 国士大  
慶大 24 (1311) 99 18 法 大

- ②日大 (6勝1敗)
- ③国士大 (4勝3敗)
- ④中大 (4勝3敗)
- ⑤慶大 (3勝4敗)
- ⑥法大 (2勝5敗)
- ⑦日体大 (1勝6敗)
- ⑧早大 (1勝6敗)

#### (優秀選手)

- GK 渡辺裕昭 (国士大)
- F.P 吉兼敦生 (筑波大)
- 原井進 (筑波大)
- 杉森弘幸 (筑波大)
- 田口隆 (日大)
- 内藤裕治 (日大)
- 実方智 (中大)

#### (得点王)

加藤元規 (早大) 72点

#### 女子一節

### 日体大、激戦を抜け出す

男子に優る大激戦だった。リーグ前の予想通り日体、筑波、東大の間で優勝が争われた。中でも筑波は、昨年の東、全日本インカレの優勝メンバーが不動で最有力候補だった。最初のカード、筑波×東大戦。筑波は高木、中田を世界ジュニア予選で欠き、東女も田島、二村を負傷で欠き、互いに苦しいチーム編成となった。第1戦前半筑波は鈴木木の活躍により6-4とリードしたが、後半東女の小池、篠原らの得点により14-14と分けた。第2戦、筑波が前半東女

(順位)  
①筑波大 (7勝)

▽5月21日  
慶大 24 (1410) 28 10 早 大  
日体大 26 (1016) 139 22 法 大  
筑波大 24 (1212) 811 19 国士大  
日大 23 (1013) 612 18 中 大



のミスにより8-1と大量リードをしたが、後半東女は宮脇、小池篠原らの活躍で猛反撃したものの、前半のリードが響き、惜しくも14-12で敗れた。

第2カード、筑波×日体戦。日体も小口、吉岡をジュニア子選で欠き苦しいチーム編成となった。

第1戦、前半筑波は河原の得点などにより10-5とリード、意外な試合運びとなった。後半に入っても筑波は小刻みに得点し、19-12で日体に圧勝した。

第2戦は、第1戦と逆に前半は9-7の接戦で日体がわずかのリードだったが、後半に入り日体の動きが俄然良くなり、23-14と筑波に圧勝した。

第3カード、日体×東女戦。この試合によって優勝の行方が決まる。この時点での筑波の自力優勝はない。日体が優勝する為には2勝、もしくは1勝1分で筑波が残り2勝した場合は得失点差による。また、東女が2勝して筑波も2勝すれば、得失点差による。第1戦前半は、11-9と接戦で日体わずかのリードで終了。後半東女は、日体の厚いディフェンスを攻めあぐみ、21-15と日体が圧勝し、この時点で東女の優勝は消えた。

第2戦は好ゲームが演じられた。前半東女は内山、宮脇らの得点により10-8でリード。後半に

入り東女は、内山、宮脇が次々と退場したが、良く守り、残り10分で17-13とリードし勝ちペースになった。

しかし、日体の猛反撃、残り3分小口の得点で逆転、終了間際に東女・大畑の得点で引き分けに終わった。

この結果、筑波が残り試合を2勝しているため、日体との得失点差となったが、日体が20ポイント差で上回り、2シーズンぶりの優勝が決った。

【戦績】

▽4月22日	東女体大 27 (1710   3) 6 東学大	日体大 33 (1815   14) 5 日女体大
▽4月23日	日体大 23 (1211   5) 10 日女体大	東女体大 18 (711   7) 14 東学大
▽4月24日	筑波大 15 (510   8) 13 茨城大	東女体大 17 (107   2) 8 茨城大
▽4月27日	筑波大 28 (1513   9) 13 東学大	東女体大 24 (1212   5) 10 茨城大
▽4月27日	筑波大 33 (1815   6) 7 東学大	

▽4月29日	東女体大 17 (611   7) 12 日女体大	日体大 25 (1015   7) 14 東学大	筑波大 24 (1410   11) 13 茨城大
▽5月1日	東女体大 16 (115   6) 13 日女体大	日体大 27 (1215   4) 11 東学大	日女体大 15 (85   8) 11 東学大
▽5月5日	日体大 19 (127   6) 14 茨城大	筑波大 14 (86   10) 14 東女体大	東学大 18 (810   9) 16 日女体大
▽5月8日	日体大 27 (1512   3) 8 茨城大	筑波大 14 (68   11) 12 東女体大	日体大 23 (149   7) 14 筑波大
▽5月11日	日女体大 13 (76   6) 12 茨城大	筑波大 19 (910   7) 12 日体大	日女体大 9 (63   6) 8 筑波大
▽5月15日	日体大 23 (149   7) 14 筑波大	日女体大 9 (63   6) 8 筑波大	茨城大 17 (89   6) 15 東学大
▽5月21日	筑波大 21 (1110   3) 9 日女体大	日体大 18 (108   8) 18 東女体大	

▽5月22日	茨城大 21 (1110   9) 13 東学大	筑波大 23 (1211   4) 9 日女体大	日体大 21 (1011   6) 15 東女体大
(順位)	①日体大 (8勝1敗1分)	②筑波大 (8勝1敗1分)	③東女体大 (6勝2敗2分)
	④日女体大 (3勝7敗)	⑤茨城大 (2勝8敗)	⑥東学大 (1勝9敗)
(優秀選手)	GK 久保真理子 (筑波大)	FD 山本美幸 (日体大)	石原房枝 (日体大)
	李 惠美 (日体大)	河原敦子 (筑波大)	山口順子 (筑波大)
	小池宏子 (東女体大)	金平裕美 (筑波大) 52点	



# 大同特殊鋼

本社：名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)  
TEL名古屋(052)201-5111(大代表)千460  
支社：東京 支店：大阪



## 私の新著紹介

# ボール投げスポーツの基礎理論

— ハンドボール競技をモデルとして —

新井 節男

可愛い子猫が毛玉にそばえるように幼若な動物は何か転がる丸いものに興味を示します。私たち大人でも精神的に安定した明るい気持ちで余裕のあるとき、ボールが転がってくるとこれを受けとめ、つぎに誰かに投げ返してあげようとなります。そしてもっと活発な人は近くに来たボールはこれを受けとめ、投げ返したり、打ち返したり、蹴り返したりするという約束事があるかのようにボールを追って身体を動かします。

このような因果関係とも思われることから生まれたボール運動は現代スポーツの中に数多くあるのですが、この中でも素手でボールをつかみ、これを手渡ししながら進め、全力でゴールに投げ入れるという最も簡単なルールハンドボールをモデルとしてその競技の周辺に存在する自然科学、人文科学、社会科学的现象を幅広く見つ

めてその本質をさぐるという試みをしてみました。

まずスポーツを行う主体である人体の動きのメカニズムを筋肉の収縮と関節作用、その反射回路と中枢神経系の支配という運動生理学の面から見ていきます。このスポーツの最大の特徴である「投げること」に関してはボール投げの器官としての腕・手の誕生とその役割を系統発生学とバイオメカニズムの面から見ていき、これを前提として実際の練習方法論を進めていきます。ボールを受け渡しながら「走ること」のためには直立二足歩行のヒトの移動能力について知らねばならない多くの問題があります。体内に酸素をとり込まないでも運動できる能力と、より多くの酸素をとり込んで強い運動を長くつづける能力の限界、推進力を生じる下肢の構造と筋肉のつき方を知って、直進走行と後

方走行・ジグザグ走行また急発進・急停止の走法の効果的な練習方法の開発などについて検討していきます。

基礎体力のうえに競技特性に合った基礎競技を獲得し、これをつなぎ合わせていくつかの戦術をつくり、相手の実力や特性・状況にみあった戦術を発動する「戦略」は勝敗に欠かせないものであります。古きを知りさらに新しきも知りということから孫子やマキャベリのような古典的戦略から、オペレーションリサーチで用いられるミニマックス理論まで参考となるものを取り上げてみました。

ボール投げスポーツというチームゲームは、チームメイトとの間に「ボールという愛」がこめられた実体をゆきささせる、そしてその愛は朽ちることのない栄冠を得るために味方に敵に真剣に全力で投げつけられるものでなければならぬと私は考えています。この愛・人間関係・チームワークを支えるものは最終章の「スポーツにおけるルール」であります。スポーツを律す

る法、行動基準としてのルールとモラル、その管理者・施行者としてのレフェリーの役割、在り方についても言及していきます。

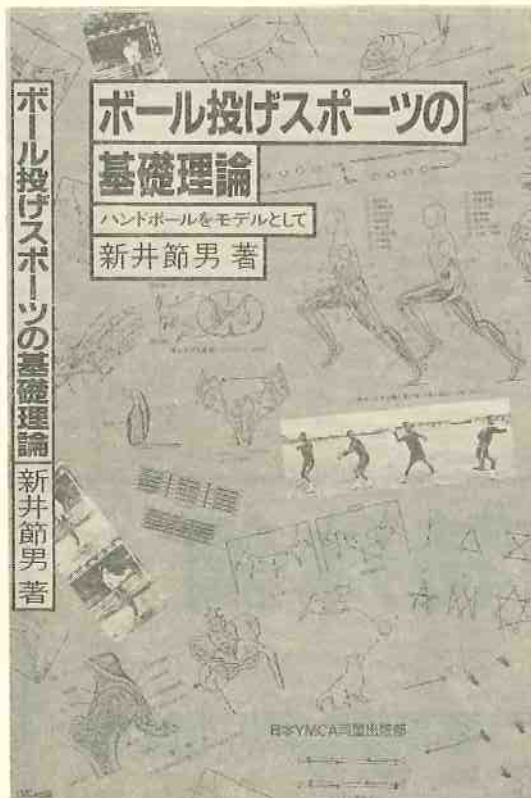
スポーツ周辺学は力動的な動きと広い競技場ということからついつい表在する動作学や勝負に直接かかわる技術作戦に目がむけられてその本質にかかわるスポーツ発生の大きな土壌に無関心というようになる風潮があります。私はアメリカ大陸開拓史の風土を背景として勝利至上主義をふりかざすアメリカ型スポーツよりも、努力の過程を評価し紳士育成手段として誕生してきたイギリス型スポーツ

の方が好きなのです。そしてこの型のスポーツの中にこそ毛玉にそばえる子猫のような純な気持ちはより多く存在し、大らかな人間全体の豊かな心と身体が育っていくものと考えているのです。そしてこのスポーツの本質を追求していくとき、数限りなくまた行きつく先を知らない探索を必要とする問題点、研究対象があることを知りファイトが出てくるのです。

Y M C A 同盟出版

(二百十五頁 二千四百円)

A5判)





株式会社 アシックス



# ストップ&ジャンプ自在。

グリップ力抜群のニューソール装備、新製品〈スカイハンドスペシャル〉

アシックスタイガーの新製品 スカイハンドスペシャル はストップ&ジャンプが自在にできるハンドボール専用シューズです。

写真の底意匠にご注目ください。複雑なトレッド(溝)をソール全面に刻み込んでいます。これは、ハンドボール特有の、多角的な動きに対応するため、とくに拇指球下のリング状意匠はグリップ力を飛躍的に高めます。このため、選手は思うようにストップでき、また思

うようにジャンプすることができます。

●甲被はステア表革と銀付ヘロアの2タイプ。●独創のカップソールは甲被を食わえ込む設計で、足ブレを防ぎます。●大型ヒールカウンターはカカトをガッチリ保持し、選手の動作能力を高めます。

●軽さ、クッション性も卓越。ストップ&ジャンプの スカイハンドスペシャル で栄光をつかんでください。

**asics TIGER**

Handball Shoes

スカイハンド<sup>®</sup>スペシャル

スカイハンド スペシャル (THH705)

**NEW**

●甲被はステア表革(ホワイト)、銀付ヘロア(レッド、ロイヤルブルー)、裏地はナイロン。●アウターソールはラバーのカップソール。●ロイヤルブルー×ホワイト、ホワイト×レッド、レッド×ホワイト。●サイズ 22.5~28.0cm

標準小売価格 ¥12,000

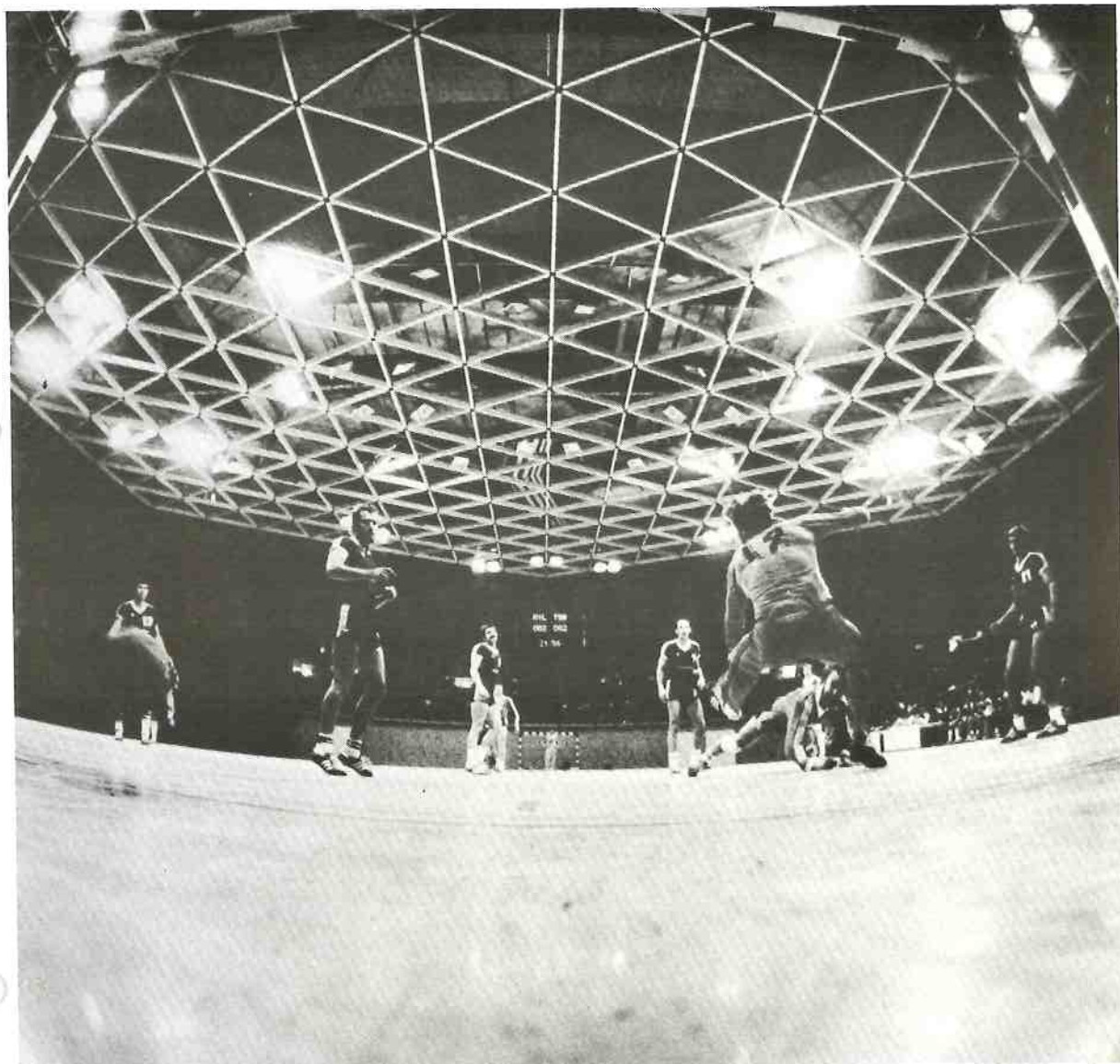


(財)日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』

第二一九号

昭和四十年六月  
第三種郵便物認可

昭和五八年 五月二十五日 印刷  
昭和五八年 六月一日 発行



東 谷区神南一丁目一  
電話 代表 (03) 七〇九七  
振替 東京 六一五八三四八番

編集兼  
発行人 荒川 清美

定価三百五拾円  
(三年間購読料)

# ドラマは「アディダス」と共にやってくる。

**3063 HANDBALL SPECIAL**  
ハンドボールスペシャル  
¥12,000(税別小売価格)  
●ホワイト×ブルー  
3064●ホワイト×レッド  
3065●ホワイト×ブラック  
もあります。



世界選手権。オリンピック。ヨーロッパカップ。ゲーム  
が高度になればなるほどアディダスの真価は100%  
発揮されます。鍛えぬいた実力を、大切な一戦で確  
実に引き出してくれるハンドボールシューズ・ウェア。  
世界の強豪、そしてわれわれが〈スリー・ストライプス〉  
を選ぶ理由は、ただ一つ、勝利への熱い意欲です。

**adidas** 

株式会社デサント/兼松スポーツ用品株式会社